賛成、どちらかといえば賛成

グランピング施設及びBBQ施設などをメインとして現在の環境を変えてでも収益性を求める事は、県外からの利用者の増加が想定されます。近隣には住宅街が多く住環境への多大な悪影響も容易に考えられますので反対です。

反対する地元住民の方々の意見を尊重するためにはそれがいいのかなと思う。

洞峰公園がつくば市民にとって大切な場所であるということだと思うので。

我々の好きなよう、運営しやすいから

県がグランピングを作る等、利用者からしたら的外れに感じる方法のみで推し進めるため、怖さを感じる。利用者目線の充分な検討や意見交換が必要と考える。

それが可能なら県でも市でも構わないだろう。

現環境からの改善が見られる計画であれば、譲渡すべき。

公園を守るためには、やむを得ない。

つくば市民の利用が大半だと思うのでそれがよいのではないでしょうか。ただ、県にとっては今まで公園維持にかかっていた費用がなくなるわけなのでつくば市民も当然茨城県民だから水戸にある県の管轄の公園と同様に県全体の緑化事業として一部の費用は引き続き負担してもらうべきだと思う

茨城県の再整備案はつくば市の街づくりや子育て世帯の利用を考慮した収益化の案とは思えなかったため。

県より市の方が、よりつくば市民に取っていい方向に向かうと思うから。

つくば市の顔と言える公園だと思うので、コスト負担の心配も含めて、つくば市と市民が持ち主となるのがよいと思います。

市内と市外で差別化してくれれば、基本は賛成。

つくば市にあるのでつくば市で管理、運営方法を決めた方がいい。

県が推進している計画に、反対だから。

県の管理よりより身近な施設として対応いただけると思う

他に方法はないと思います。

無償なら

つくば市運営のほうが、市民の声が届きやすいと思う

つくば市の公園緑地の素晴らしさを実感するつくば市民が、発信源になるためにはつくば市に移管されるのが良い。

今の県知事とつくば市民の考え方は合わないというのは個人的な感想ですが、

規模が大きくなるほど細部の状況を正確に理解できないのは組織としてしかたないことでもあるので、自分たちが変えて欲しくないと思うところは自分たちで管理していくしかないと思います

そして県にはどんどん新しいものを作っていただきたい

県はグランピング、BBQ施設を推進していたから。

近隣住民として、洞峰公園はとても自慢です。

ただ、施設の管理が中途半端な気がしていた。

きめ細やかに配慮できるのは、つくば市なのではないかと思う。

賛成です。

茨城県のままだと、また何をされるかわかりません。グランピングやバーベキューなど、洞峰公園にふさわしくない事を平気でしようとする茨城県には任せられません!!

市民の不安を煽るような事はしないで頂きたいです!

洞峰公園のすぐ近くに住んでいますが、

バーベキューなど反対です。

皆さん家の隣で常に毎日バーベキューされたらどうですか?嫌ですよね?

この1年間本当に不安でした。

バーベキューやグランピングは本当にもうやめてほしいです!

つくば市の公園なので、地域の人と連携してさらに素晴らしい公園にしていきたいです。

県は地元住民の憩いの場である現状のことへの理解が低かったため

多くはつくば市民が利用するものだから。

つくば市に所在し、地域住民の生活に直結する立地から、つくば市で管理するのが妥当。

貴重な生態系の維持・管理の面からも研究学園都市としてのつくば市がふさわしい。

国の研究所に隣接しており、セキュリティ面からも、つくば市による管理が妥当。

つくば市の方針の元、他の市の施設と合わせて一体的に維持活用を考えられるから。

グランピングとBBOはありえません。

受け入れがたいもので、阻止するためにも無償譲渡は賛成です。

避難所にするなど、つくば市で使い勝手がよくなるのではないかと思うので。

グランピングやBBO施設を作ることには違和感があったので。

環境を守るために必要なら賛成。

これまでの経緯などネットで読んでいますが、無償譲渡による問題点が分かりません。

どちらかと言うと、それが当然かと思います。

県の施設とはいえ、近隣の住民の支えがなくては成り立たない。

県プランにあったBBQ場などは必要ないと思います

市民の憩いの場所だから。

商業施設に利用する当初の県の方針に異論があるため

自然環境は一度破壊されると二度と元に戻らないかけがえのないものであり、地域の人々、特に次の世代の人たちに引き継ぐべき財産であると考えているからです。

維持していただけるのであれば賛成です。

設問の通りであれば、全く賛成。そのために、つくば市がそれなりの負担をするという、ことで判断をしたと理解している。

有償譲渡では難しいのでは?

県よりもつくば市のほうが上手に運営できると思うから

県の方針と地元の意見に隔たりがあり、公園の環境を守るためには仕方がない。

これまでの経緯を踏まえて、どちらかを選ぶとすれば無償譲渡による移管の方が良いです。

ただし、つくば市長さんが今後替わった時に、洞峰公園の扱いが変わってしまうかもしれないという不安はあります。そうならないためにも、今回の協議の結果を理念も含めてきちんと記録に残す必要があると考えます。

今後市が整備を負担するのだから県は無償譲渡がのぞましい。

グランピングやBBQ等の言ってしまえば的外れな事がなされなければ、県または市どちらが運営しても構わないです。

ただ、五十嵐市長は現在の洞峰公園の環境を守っていきたいと説明会ではお話されていたので、市への譲渡はどちらかといえば 賛成です。

賛成ではあるが、無償譲渡による移管を受けることにより、なぜ洞峰公園の環境が守られることになるのか疑問がある。

ー番良いのは県の管理のままで今の状態が保たれることだが、それが難しいとなれば次善の手段として市に移管は賛成。

ただ、その実現のためには、多くの市民が「汗をかく」ことが必要となる。年1回、いや2年に1回でもなるべく多くの市民がさまざまな公園維持活動に参加するような仕組みづくりをしていかなくてはならないと思う。

正式に譲渡されてから、ではなく、市が関わりながら民間有志で協議会を立ち上げておいて、あとで市も入る、という構図でなるべく早くから動くことが必要。

茨城県が厄介払いしたがっているものの管理を県に任せる必要はない、と考えます。洞峰公園の存在で恩恵を受けるのが主に市 民であろうという推測もあります。

現状がベスト。

賛成である。県の方針があまりにも市民との考えに乖離している。

今までの県の対応からみても明らかである。何度か実施した説明会でも県の対応は非常に見苦しく情けない。県の対応として恥 ずかしくないのかと思う。

茨城県がグランピングを考えていてバカバカしいから。

移管により何が変わるかがわかりませんが、現在の環境が守れるのなら賛成です。

県に管理していただくより、市の方が地元の意見が届きやすいと思う。

洞峰公園の運営に地元の意見を反映していただきたいので、県より市の方が

届きやすいと思います。

大いに賛成です。つくば市の今の在り方はつくば市がリードし、モデルケースを示すことが大事だと思う。市町村の在り方や生 存戦略は県に委ねるべきではない。

県主体の管理だと、つくば市民の意見が反映されずらいから。

つくば市の公園なので、つくば市民の意見を反映してほしい。

つくば市は国内でも有数の人気自治体であり現在もなお人口増加中であるため、公園の管理維持費を賄うだけの財政余力はあると思う。つくば市で引き取った方が公園用途の自由度が増すと思う。

グランピング施設は必要ない

県との話し合いである程度折り合いがついていると理解しているので、それで良いと思う。

つくば市長すばらしい!

その分つくば市で維持費がかかるので、いろいろアイディア出しをしてみんなで環境を守っていきたいと思います。

県が考えは、近隣住民の生活の事を考えてない

市民の声を反映してもらえるから。

グランピングはやめてほしい。自然を維持してほしい。

今のままの洞峰公園であってほしいと思いますので。

グランピングを平気でしようとするような県に任せたくない。

有償は論外。県が経営に失敗したのがその理由。

県は管理を適当にしているため。

既に無償譲渡の方向に進んでおりますので、今更反故にするのは無理だと思われます。

洞峰公園が好きだから

県の運営方針では、今までの公園の安全が保たれない。

つくば市の方が県よりも、より市民に寄り添った運営が期待できるから

無償譲渡は賛成ですが、これまでの県の維持管理についてのノウハウはアドバイザー?として後援していただけないのでしょうか。

住民自らの意向を通せるようにするため。

つくば市が管理するのならば、洞峰公園に手を加えたり方針を変更するときに、きちんと事前にアナウンスしてくれると思うから。

県ではなく市で管理することで、地元寄りの判断をしてくれそうだから

市民レベルでいろんなことを決めたらいいと思う。

グランピングや、コンサート会場、お酒の提供はやめて欲しい。が、維持費がかかり、市民に負担がかかるのもどうかと思う。

当初の県の考えは市民の考えと合致していないと思ったため。

県は住民の意向より収益を一番の大事と考えているようで、とても任せられないから。

望まない方向に進むのでしたら、譲歩してもらうしかないと思います。無償譲歩で。

市民のための施策という意味で、つくば市の管轄の方が、間違った方向にいかないのではないか。

つくば市民に寄り添った方針で維持管理ができるようになるのではと思います。

現状維持と利用者負担で対処

知事はグランピング施設にしたくて仕方がないのでしょうから。市長はよく食い止めてくれたと思う。

つくば市が譲り受けた際にどう運営していくかのイメージが持てないので、大きく賛成はしかねます。ただ、このままだと観光 地のようになってしまうのであれば、ぜひ今の環境を守っていただきたいです。

市民の意見を反映させることができるので。

お金は湧き出るものではないので

安いにこしたことはない

県に任せておくと商業施設になってしまうから。

県の所有にすると、また同じ問題が出てくるので、くれるというなら、もらった方が良い。

つくば市は、県のようなやり方はしないと信じている

県から市の保有になって維持管理のレベルが下がる心配はあるが、市の意向が反映されやすくなる点は評価できる。

県の方針と地域住民の願いに差がありすぎる

茨城県の考えはグランピング、BQQ等の設置で、現在の洞峰公園の環境を変えすぎるため、つくば市で運営した方がよい。

洞峰公園の特性を理解する市が管理することによって、市民により親しまれる公園になれば良いと思います。

茨城県の計画(グランピング施設・BBO施設等の建設)は荒唐無稽な話であり

つくば市・市民に利益(金銭的・非金銭的両者)はほとんど無く

洞峰公園という都市緑地を守るためには、つくば市が管理する以外の方法がない

市民の要望が高いのであれば。現に憩いの場として市民がよく利用していると思うので。

市民が憩う場所にグランピング施設やBBQ施設があることに非常に違和感を覚える。そもそも多くの市民が周りにいる中で一体誰が、そのようなアクティビティを楽しめるだろうか?そのための樹木の伐採や公園地形の変更など公園環境を破壊する計画は受け入れがたい。

つくば市以外の茨城県の方が税金を使うな、の声を見かけた

より身近な市の職員や、市民が考えて取り組むべきと考えます。

ほとんど地元の人が使っている施設なので自分たちで決められる方がよい

近隣住民にとって、安心して遊んだり、運動出来る大切な場所だと思う。

県が改悪の計画を立てるくらいなら、つくば市で保全の方向で取り組んでいただきたいと思います。

予算の乏しい県から人口増等の活性化に伴う増収が見込まれる市への無償譲渡は妥当と考えます。設備管理および回収は地域の ニーズに合った形で行うことができ、県営公園であったことが理由による様々なギャップの解消が狙える良い取り組みであり、 支持します。

譲渡してほしい

県はグランピングやBBQ施設をつくろうとしていたあたりで、洞峰公園やその周りの環境をよく理解していないのかなと感じたので、もっと身近な市が管理したほうがいいと思う。

現在の環境を維持するのに必要なら、市の負担が増えても仕方がないと思うので。

本来は、上記の理由に書いたような収益性を高め、県管理の元、つくば市も維持管理費を出して、共に現在の環境を保全し活か していけると良いと思う。

ただ、県がグランピング施設及びBBQ施設以外の収益確保の方法をつくば市と話し合っていくことができないならば、茨城県から無償譲渡による移管を受けるのも一つの方法だと思う。

民間に譲渡されるより、市が維持管理した方が市民の意見が反映されやすく安心感がある為。

市の意向の方が賛同出来る為

メリット、デメリットがよくわからないので強い意見はない。

つくばの魅力のひとつとしてつくばが管理をするというのは違和感ありません。

県から市への移管であるならば妥当と考えます。

茨城県が洞峰公園の環境を変えないと管理できないようならば、それを無償で手放し、つくば市に譲渡するのが筋かと思いま す。

その方が上手く環境を守っていけるのなら賛成です。

つくば市をよいものにしてくれているのは洞峰公園の存在が大きいのだと思う。こんなに良い公園は他の都市を見渡してもそうない。県の持ち物にしておくよりは、つくば市の持ち物にして、つくばの魅力をより引き立たせて欲しいと思う。私自身は国内外の様々な都市を転々としたが、筑波に戻って子育てをしたいと思った。その1番大きな理由は洞峰公園があるからだった。つくば市には22万人いる。みんなで洞峰公園を支えていけばいいと思う。

つくば市の住民が、自分たちの公園としてより積極的に公園管理に参加できるようになると思うから。

茨城県が公共施設である公園に収益性を求めたことが非常に残念なことであった。県からしてみれば、市に無償譲渡することで維持管理修繕費ごと丸投げできるので、体の良い負債処理ができるというところだろう。県が管理する限り、大切な洞峰公園の環境維持を危険にさらすリスクがあるということが今回明るみになったので、市への移管には賛成である。

収益性を追求するのは、民間です。地方自治体も赤字は避けなければなりません。しかし、住民の住環境・自然環境を守ることも大事な事だと思います。「開発すれば収益性のある公園」という見方にとらわれている県の姿勢は、洞峰公園周辺への見方に偏りがあるように思えます。

洞峰公園が立地するつくば市が洞峰公園について、色々な考えを巡らす方が、市民・住民の視点を活かし、洞峰公園の最善の利用や保護につながると考えます。

県の計画はあまりに理想と現実の乖離が有る。

街の中心でグランピング、キャンプを行うニーズがわからない。

現時点で利用している方の声を聞けば、現状の形でどう継続出来るかを審議する方が無理ない事は一目瞭然ではないでしょうか。

一過性の施設ではなく長期的にみても現状の洞峰公園がベスト。

つくば市において重要な公園である。ぜひつくば市で良い運営をしていきたい。

自然、安全な環境を保全するためには賛成です。

整備には費用がかかるのは当然ですが今までの地元民から愛される洞峰公園の保全を希望いたします

茨城県が今のまま維持、管理できず収益を上げるために自然を壊すようになるなら無償譲渡も仕方がないのかと思う。 そのかわり、市民が有効に使えるようになってほしい

県が管理出来ないというのなら、市がするしかないのでは。

県から委託費をもらって、市が代わりに管理しても良いのでは、とも思いますが。

洞峰公園の利用者はつくば市の住民が殆どであり、住民がより積極的に公園管理に協力できるようになるから。

県が管理できなくなったのであれば県が一般に売り出し公園を辞めてしまえばいいことだから

市が負担を負ってまで残す必要はないと思う。

無償譲渡で今までの洞峰公園が守られるのであれば、賛成です。

現状を維持した洞峰公園であって欲しいです。

子供たちが夏にプールの授業できるのはとても良い。

土浦市も小学校のプールを修繕せずに、水郷プールを利用している。つくば市も同様に、授業に利用したらいいと思う。

つくば市で利用方法を検討できるから(市民の意見を反映していただけると思います)

県のグランピング利用案は反対だから

静かな環境を守りたい。

県だと利用状況、周辺状況など考えず利益を求めそうだから。

公園の規模を考えると市で管理するには限界がある様に思いました。

茨城県がグランピング施設を建設と聞いて憂慮してました。

譲渡されて、つくば市の方針に沿ってこのままの洞峰公園を維持して、市民の憩いの場としてあり続けるよう願ってやみません。

大前提として、現状のままではなく、最低でも修理修繕が必要な箇所を県の予算で完成させてから。

県の案には賛成できない点が多く、周辺市民の負担も多いと思う。

周囲の交通や街作りと一緒に、つくば市らしい場所として管理していけたら良いと思う。

県に任せるとグランピング施設など収益を上げる方針となる為

茨城県に運営能力がないのであれば致し方ない。

なんとなく。数年前から話し合っていたようだし、変える時期なのかもしれません。

住民の為に運営できるようになると思うので。

市民による声の反映がなされやすい。

つくば市は、もっとも洞峰公園に身近でその自然の価値を認識している。

かたや、茨城県だと収益の方に目が向いている。

つくば市にある公園なので

つくば市が管理できるのが一番いい。

現状をよく把握できる。

人口も増えているので

つくば市の財政で予算配分も考えられる。

グランピング施設の設営などで、周辺が騒がしくなるのが嫌。今の自然環境を保持してもらえるなら、市に譲渡してもらった方がいい

市に譲渡することで公園の質が上がる前提ならばぜひ。

市の管轄になったほうがより市民の意見が反映しやすいと思うので

県と方針が違うのだから、譲渡は必要だ。

そうでなければ、責任の所在があやふやになるだろう。

つくばのことはつくば市民にしかわかり得ません。特に県は県央以北しか茨城県だと思って無いような節があり、理解の乖離が 大きいと感じているので、市が管理出来るのが理想だと思います。

茨城県は、収益性のある施設の整備を重視しており、これに反対であるため。

県による洞峰公園の維持管理が収益施設中心の計画であるため現状基本管理方針の市への移管は賛成であるが、移管後の維持管理がまだ明確でないため、現段階では100%賛成とは言えない。ある程度、県による補修や管理を受けてから譲渡された方がよいと考える。

茨城県の方針だと、現在の洞峰公園のあり方が守れないと感じるため

市内の他の公園のように、有効に活用されてない気がするのは、県が管理しているからなのではないかと感じるからです。 市内にある企業や店舗と協力して、公園の魅力を再発信してほしいと思います。

環境を守るためにつくば市に移管してほしい。

利用者の多くがつくば市民のため。

ただし、移管を受けたのちは、施設利用料などについて、つくば市民と市民以外とで負担金額に差を設けるのが適当と考える。

利用者が県民全体というよりは、近隣住民に偏っていると思う。

県知事は、グランピング施設を作ろうとするから。

県で大変なことは、市でも大変な事と思う。

でもやはり、市民に愛されている公園なのは、確か遠くの他人が議論するより市民がきちんと今後について考えていくのであれば、どのような変容も受け入れられるから。

つくば市に譲渡されれば、近隣住民や市民の要望が反映されやすくなると思います。

県と揉めることは、どちらにとっても良いことではない。と思います。

今の環境を維持してほしいので。

県はつくば市民の望むものを理解していないと感じます。

県の方針では現在の洞峰公園の環境が維持できないということなので、無償譲渡はやむを得ないと考えます。

市の意見が反映されるならよい

より市民に適した運営ができるだろうこと

茨城県の今回の利益優先の公園整備には問題があり、市民の為に計画を中止めさせる為に必要

市民が主に利用する公園を、市が所有することは望ましい。

今まで県の許可を得なければ何も出来ず、地域の声は届きにくかったが、市が所有するとなれば、市民の声が届きやすくなると 期待します。

動きやすくなれば、洞峰公園の為に何かしたいという地域の人間は沢山います。

ぜひ市と協力して、地元を盛り上げていきたいです。

公園の維持管理をつくば市が行うことは国民にとってとても良い。

公園環境を破壊するようなグランピングなどと言うどこから湧いてきたかわからない計画には、反対します。つくば市がこの計画に反対し、公園環境を守れた事は良かったと思います。

しかし、施設も老朽化しているこの先、つくば市の予算で維持管理していけるのかが疑問に思うところです。

洞峰公園は住宅地の中にあり、地域住民の思い入れの強い場所です。県の施設として管理され開発されることにはそぐわないと 思います。

市民のための公園として存続するのが望ましいと思っているので。

洞峰公園には豊かな自然があり、市民の憩いの場として親しまれてきました。この豊かさは、つくば市の大きな魅力のひとつだ と感じます。この環境を維持するため、つくば市への移管に賛成します。 水戸の県庁の職員にいじくり回される位なら、つくば市で管理した方が良い。

収益化には反対なのでつくば市が現在の環境を守ってくれるというのであれば賛成です。ただ、その後維持管理するほどの経費を市は用意できるのか?案じています。

つくば市の近隣の状況が把握できており、適切な運用が可能なつくば市に預けるべき

良し悪しがわからない

市の財政だけで賄うのは負担が大きいため県からも補助が欲しい。それが難しいのであればつくば市民以外の利用者は利用料金を値上げして欲しい。

県のとりあえずキャンプ場作って収入ふやそうという安易な発送は実際に公園を使用している住民の意見とは解離していると感じるから。

防災拠点としての洞峰公園の重要性を県が全く認識していないことに驚きました。

防災拠点、インフラとしての重要性を認識していればそもそも県が手放すという選択肢は出ません。

洞峰公園で毎年6000万円費用削減しつつ、民間企業は利益を出すという計画も杜撰で、あとからあとから計画変更があることは容易に想像が付きます。

三日と空けずに爆音バイクが走り回る環境でグランピングするのは、利用者さんがかわいそうです。

グランピング計画立案者は絶対に現地環境を把握していません。

つくば市が譲渡されるのは県を救い、環境を救う1番良い判断だと思います。

市民の声を反映するには、県ではなく市が管轄すべきと思います。

無償譲渡による市民への影響を、分かりやすく提示して頂き、合意された上での譲渡を期待します。

県に任せたら好き勝手やられ過ぎてしまいそうだから

茨城県から洞峰公園を無償譲渡されることは、パークPFI事業の取扱いをめぐる県とつくば市との折衝の経緯において、茨城県からパークPFI事業の実施を見送る条件として、茨城県からつくば市に洞峰公園を無償譲渡するので洞峰公園の管理はつくば市が担ってほしいと、パークPFI事業の実施を認めるか、県からの無償譲渡を受けるかの二者択一を迫られた結果であると理解しています。 グランピングやバーベーキュー施設、24時間営業のトレーニングジムなどを設けるパークPFI事業を進めることは、洞峰公園の自然環境を大きく損なうことであり、これを防ぐために、つくば市が洞峰公園を市民、そして県民のために、その豊かな自然環境を守るため、無償譲渡を受け、洞峰公園をつくば市が管理することに賛成です。この無償譲渡に至る経緯においては、パークPFI事業に対し、昨年、2022年7月に4回にわたる茨城県と県からPFI事業を受託した民間企業からなる共同事業体によるPFI事業の説明会において、多くのつくば市民が事業の実施について、洞峰公園の自然を守る観点から疑義を抱いたこと、また説明会を受けての茨城県のアンケート調査でも、多数の懸念がつくば市民から寄せられていたことが起因として挙げられます。つくば市は五十嵐市長をはじめ、建設部公園・施設課が、多くのつくば市民の洞峰公園の自然を守りたいという思いを尊重し、茨城県に対し、粘り強くパークPFI事業の見直しに向けて折衝を重ねた結果、県知事から上記の二者択一の提案がなされたものでした。そして、つくば市は無償譲渡を受ける方向で方針を固め、本年、2023年7月に4回にわたり、広く市民に無償譲渡に向けての方針を周知する説明会を市内各地で開催しました。私は4回の説明会に参加しましたが、多くの参加者から洞峰公園の自然を守り継承していきたいという声が上げられ、洞峰公園を守るために無償譲渡を受けることに多数の参加者が理解を示していたと記憶しています。

その後、茨城県議会では、洞峰公園のつくば市への無償譲渡について、県有施設・県出資団体等調査特別委員会の委員の一部が県議会での議論が不十分ではないかとの疑義が出されましたが、委員会で無償譲渡の是非について検討され、2023年9月25日の同委員会で無償譲渡について県民の理解を得られ、妥当であるとして承認されました。(私はこの委員会を傍聴しました) 上記の経緯を辿りながら、現在、つくば市議会において、無償譲渡に伴う洞峰公園の維持管理に要する予算措置について、審議されていると存じます。確かに、これまで茨城県が県の予算で管理していた分を、つくば市の予算で行う負荷がかかりますが、その負荷を受けてでも、パークPFI事業のような洞峰公園の自然を破壊し、市民、県民の憩いの場、安らぎの場を壊すことを食い止め、私たちつくば市民の宝である洞峰公園を守っていく意義は十分にあります。もちろん、貴重なつくば市の予算ですから、必要以上に予算をかけないように、よく必要性を吟味して支出の無駄を省くとともに、自然豊かな洞峰公園の価値をより多くの市民が享受できるように、公園の活用においても一層の工夫が求められると思います。

つくば市の資源として、より密接に、近隣住民の想いに即した活用ができると思うため

茨城県の洞峰公園ではなく、つくば市の洞峰公園としてあるべきだと思います。

洞峰公園は市外からの利用者もあるが、圧倒的につくば市民の利用が多いと思うので、つくば市の管理が望ましい。

実際の現場をよりよく把握できる機関が管理するのが適していると思う。

県が環境を維持しつつ管理してくれることが理想だったとは思いますが、環境維持の意向ではなく、グランピング等ありきで、 住人からの自然環境維持を希望する署名活動や県アンケートへの意見をみても県の方向性は変わらなかったのは残念です。 つくば市がその点を考え、市での負担が増えることも理解した上で無償譲渡を受け入れたと理解しています。

洞峰公園が好きだから

そもそもなぜ反対。こういう議論をしたいのなら、まずは賛成、反対双方のメリット、デメリットをフェアに示さないと意味が ない 実質的には市民公園だから

財源が限られているので、無償譲渡がよい。

茨城県管理だと実情が伝わりにくく、より近く、利用者の多いつくば市が管理した方が洞峰公園をよく知り、愛し、利用してる 人たちのニーズに合わせてもらえると思うからです。

当事者意識を持って維持管理できる組織が管理した方が良いため。

県の洞峰公園計画は箱物作りであり、到底賛成できない。

公園機能を活かしてもらいたいです。

これまで、市民が愛してきた市のシンボルといっても過言でない公園であるため、市民の声を一番に反映できる市が管理していくのがよいと感じる。

グランピングは他所でやって欲しい

土地は他にもいくらでもあるのだから、わざわさ公園の景観を壊して何かを作る必要性を感じない

譲渡を受けないと、お金もうけの施設にされてしまうから。

市が管理した方が、利用者や近隣住民の意見が反映されやすいと感じる。

そもそもの問題は、この公園にグランピング施設を作ろう、という県の考えがあってのことで、そういう考えを持っている県に、この公園を任 せることはできない、という近隣住民の声が多かったことです。公園の周辺は、住宅地であり、研究所であり、

キャンプなどをするような場所ではありません。

この公園のことをわかっていないとしか考えられない県の方針に、賛同できないだけです。そういうことでなければ、このまま県が管理していくことに不満はありませんが、今回のParkPF1事業への参入の考えがあまりにも浅はかな計画案で、県への信用がなくなりました。

茨城県のPFI案には賛成できないため。

洞峰公園の恩恵を受けているのはつくば市民が多いため。

つくば市内の施設なので、つくば市で維持管理し、市民の利用しやすい公園にしてほしいから。

県は、維持のために、グランピングなどの必要のない施設を作ろうとしてるので。

今のままが好きだから

グランピングはなんとしても避けたい。

自然環境を維持したい。

元々つくば市に公園が有るのに県立ってのが可笑しかったと思う

県に任せると無用な開発が行われる可能性が高いから

つくば市は人口も増えています。一人当たりの公園の広さを増やすには、ちょうど良い機会ではないでしょうか。

また、県のグランピング計画を止めるための交換条件なら、やむなしと思います。

市民中心の公園の方が使いやすくなる

地元住民に愛される公園であってほしいからです。

観光収益に重きを置いた県の管理方針は受け入れ難い。しかし、かけられる予算がつくば市管理になることで減少することには 懸念がある。

周辺に住民も多く生活に密着した公園なので、地元の自治体が管理運営することが自然だから

今回のつくば市の判断には敬意を表します。

今回の県の動きは都市公園としての役割を理解することなく、金儲けの方に走った。市民の声を聞くこともなく、市に対し脅しの連続であったと感じている。値上げをするとか、いきなり譲渡すると言い出したり、子どもじみた動きにはあきれている。市民と共に知恵を出していけば、現在のつくば市の財政の中で運営は成り立つと考えています。

土地勘のない人たちに机上検討のみで大幅な環境変化を起こされるのは心配です。

県が地元住民の意向を無視するならやむなし

これまで県民税で負担した経費を市に負担させるのなら、無償と言って丸投げするのではなく、県は今後も何らかの負担をすべき。現在の施設の不備の改修はもちろんだが、将来にわたって改修などの経費の一部負担をするのが筋ではないか。

県では商業的な開発が進んでしまうので。

つくば市民の声を反映させるには、現地のつくば市が管理した方がよいかと思います。

つくば市で管理した方が住民に寄り添った管理が出来そう。

これまで書いたことが理由に当てはまると想う

県がグランピング施設やBBQ施設を作らないと維持管理出来ないと言うのであれば、自然環境を守り現状のまま維持する為には 市での管理をお願いしたい。県のままであれば、施設を作りまだ採算が合わ無ければ将来施設が増える心配をしております。

経済性ばかりに偏重する県知事の方針に納得できない。洞峰公園の存在意義を理解していない。

洞峰公園を良く知る市長が先導する市の方針に期待したい。

このまま県にまかせていれば緑豊かで静かな公園環境は維持されないと思うので、つくば市への譲渡に賛成します。

知事は、単に収益しか考えておらず、また、グランピング業者選定についても、不透明なところがあるため。信用できない。

利用者はつくば市民がほとんだと思うので、つくば市民の合意が得られる公園にしてほしい。

グランピングやビール工房は不要と判断するから。

つくば市にある公園だから無料で譲渡してもらうのは当然ではないでしょうか?

「大規模災害対策拠点」(正式名称は不明)の指定を受け、相応の機能整備がなされており、今後も当該機能は果たしていく ことが期待されていることから、今後は高額な維持管理費を、ネーミングライツ等の積極的な活用を認めておいていただく必要 があるであろう。

そもそもつくば市にある公園をつくば市が管理するので、当然無償で譲渡されるべきだと思います。

公園の維持管理に関して、PFI導入に反対運動が起こったあとの県の態度が非常に冷淡で、短期的な視野しかないものと考えている。このまま県に洞峰公園を任せていてもしかたがなく、市が公園を管理することに賛成。市が、洞峰公園の設立経緯も含めて過去の経緯を尊重しつつ、都市公園のみほんとして洞峰公園が後世に残るような場所にして欲しいと考える。各地で都市公園のありかたが議論されているなかで、今回の洞峰公園の県から市への無償譲渡は、国内外からも注目されていると考える。

テーマパーク化や過剰なレジャー施設化は求めていない。それにより利用者が増えて今まで以上に利用しにくくなるのは困る。

県が管理する公園より市の管理下のほうが柔軟性が増すため

近くに住む市民の憩いの場である洞峰公園に、グランピング施設やBBQ施設などは絶対に設けて欲しくない為。

公園を利用しているのは、ほぼつくば市市民だと思っています。

公園の良さを理解し、利用して、これからよりよい方向で利用していく為に税金は使って欲しい為、県からは無償譲渡で良いと 思います。

つくば市に有るんだから、無償譲渡はありだと思います。

より、素敵な公園に成るように管理して、欲しいです。県が管理するより、より最先端な公園に成るように

つくば市ならきっとできる!

県でできなかったこと。

もっと魅力的な公園にできると思う。

県の計画は、現在の利益優先に偏りすぎており、地域における公園の位置付けや、未来社会に向けた構想がなかったから。 カーボンニュートラルがこれだけ言われている中、公共交通の計画がなく、駐車場の拡張しか考えていないことに驚いた。

県の財政が厳しければ引き取ってもいいと思う。

県のグランピング施設等への変更計画には反対である。なので、市が譲り受けてスポーツ施設へと改修して欲しい。しかし、市 が譲り受けても、単に今の環境を維持するだけなら、非常に消極的な考え方だと思う。

水戸につくばのことはわからないから

このまま現状維持をしていても変わらないから。

環境を守ることももちろんですが、魅力的な公園を作るためのイニシアチブを、つくば市に持ってこれることが重要だと考えます。

権の案は公園を壊すに等しい。

グランピング、バーベキュー場は不要の立場。長期的に見て利益が出るとは思えません。

県の管理より市の管理の方が、公園利用の実情を理解し、よりよい運営ができるとおもうから。

県から市への譲渡については理解が浅いのであまりコメントできませんが、公園の現状維持に必要であれば譲渡した方がいいのかなと思います。

県のPFI案は利用者の要望を汲めていると思えないから。

当初の県の改修計画が酷すぎる。

つくば市が管理すべき。

譲渡されないとなるとこれまでの洞峰公園ではない洞峰公園に変えられてしまうリスクがあるから。

県に勝手に決定してほしくない。

近所の市内利用者に配慮した方針をとってほしい。

県よりつくば市の管理に期待しているから。

茨城県が、収益を重んじるのであれば、つくば市で洞峰公園を守っていただきたい。

茨城県の洞峰公園の運営方針に反対するから。グランピングやbbqはゆかりの里で十分

とはいえ、利用料金や税負担の上昇は、公共施設としての常識の範囲内に収めてほしい…

茨城県は茨城県の利益のために管理方針を決めるため、グランピング施設やクラフトビール製造、24時間制のジムなどのアイディアを出してきましたが、クラフトビールについては公園通りにつくばブルワリーがありますし、24時間ジムについても公園のすぐそばにFit24がすでにあるため、民間と競合してしまいます。

グランピング施設については住宅街のそばにあると言う立地から治安の問題にもつながるかと思います。

茨城県はそういったバランスを欠いた施策を自分たちのマネーフロー改善のために実施しようとするため、

つくば市に移管していただいた方が良いと思っています。

つくば市の公園なので、つくば市民の声が反映されやすい形が良いから

洞峰公園のよさを残すために最善の選択肢だと感じるから。また、市民や利用者が洞峰公園のありかたをより自分事として考えられる機会になると思うから。

無償譲渡を受けるのであれば、今後つくばで洞峰公園を発展させた時にやっぱり県もとか口出ししないようにして欲しい

県が収益性にこだわるのであれば、より市民目線で洞峰公園の価値を評価できる市で管理を行っていただくのがよいかと思います。

現在の景観を守りつつ運営するためには、市の管轄下に入れる必要があると思うため。適正な事業者選択をお願いします。

グランピング施設などいらないと思う。完全に収益目的になってしまっている気がする。

維持費などの課題茨城県管理の場合、近隣を住民の声や利用者の声が反映されにくいと感じるため。

市内にある公園なので市で管理した方が良い。

茨城県のPFI事業への進め方には愕然としました。県の説明会に参加しましたが、洞峰公園の意義や将来への意識が全く感じられませんでした。予算削減のため、安易なグランピング、BBQ、飲酒など酷い案を提示していました。落札した長大の言いなりと受け取りました。また、大井川知事による「PFIか無償譲渡のどちらか」という信じがたい発言・方針に対して、つくば市ならびに五十嵐市長の英断には感謝しております。無償譲渡され、長期的に公園管理するうえで、難しい判断が多くのしかかると思われますが、市民と寄り添って考えようとする姿勢に感謝します。茨城県(の都市整備課)とは大違いです。

利用者のほとんどがつくば市民であり、近くで暮らす人達も言わずもがなつくば市民ですので、その運営方針に県と市・市民で 意見の相違があるのであれば、市・市民が直接関われるように改めるのが必然だと思います。

一番守ってほしいのは自然環境だから。

何十年と茨城県に住んでいるが、今回の事があるまで県の所有だとは思っていなかった。それだけつくば市に昔からある公園なので、そのままつくば市に譲渡すべきだと思う。

市民のための公園として、市が市民の意見を聞いて管理運営してもらうことが理想です

アンデルセン公園を目指す必要はないと思います。

市が直接管理できる方が色々収益健全化の面でも工夫のしようがあると思う。

地元の声を聞き届けず、どう考えてもおかしいとしか思えなかった謎のアンケートで収益化を強行しようとしていた県の態度に は不信感しかない。

つくば市民の意見をくみ取り、つくば市がよりよくあるために尽力してくれる市職員の皆様にお任せしたい。

ほとんどの利用者がつくば市民であることを考えれば、つくば市が管理する方が良いと思います。

つくば市が管理された方がつくば市市民の声が反映されやすいのではと考えます。

基本的につくば市民の利用が多く、市民のための公園、と言ってもよい。市が管理・負担するのが当然だ。ただし、つくば市民以外のための公園・避難場所などの側面もあり、また過去の経緯もあるので、県と連携し、県から何らかの補助もあるような形が望ましい。たとえば、環境が保全され、自然との共生について示す場、であれば、県もそれに関与したいと思うのではないだろうか。*県庁の存在する水戸からはかなり遠いこともあってか、県(県職員)には洞峰に目が届いていない。結果、施設管理者任せになってきた。以前は、親せきを多数雇用するなどの私物化がなされていた時期もあったいううわさも耳にした。旧来の管理基準が残り、(樹木が低かった時には可能であったであろう)多数の高木の剪定をする必要になっている(が、実際にはほとんどなされておらず、しかもそれで事実上はほとんど問題がない)という問題も起こっている。地元であるつくば市が管理することになれば、市民の声もより反映され、無駄な部分も少なくなると思う。*「協議会」については、よい洞峰をいつまでも保てるよう、いい形で設立し、維持していってほしい。

ただし、市がどのように運用するかが難しい(市が横暴に進めることになっても困るし、参加者メンバが好き勝手なことを発言して、市を振り 回すことになっても困る)とは思う。協議会をチェックする仕組みも必要なのだろう。 市の方が運用・整備についてより積極的に関与すると思われるため

つくば市で管理すべきと思う。

先の回答と重複するが、現状、公園全体的の設備・環境が補修維持されていない。(屋外ベンチが腐っている、足場のブロックが崩れている、沼の周りのロープ用の杭が折れたまま埋まっている、タバコの吸い殻、割れたガラス片が多数落ちているなど、危険な場所も放置されているなど。)

これらの問題を解決しこれから子どもたちが安全に公園を利用できるようにしていただきたいので、無償譲渡に賛成。

県の管理下では、パークPFI事業によって商業施設が導入されてしまうから

グランピング案には反対だからです。

県による商業化によって公園環境の悪化が危惧されるから。

利益を供与しているのはつくば市民がほとんどであるため、つくば市民で運営(費用負担を含め)する方が望ましいと思うため。

身近でとても貴重な遊び場を維持したいため。

現状を維持して欲しいため

設置理念が堅持され、子どもや孫の世代まで大切な都市景観遺産として残せるならどちらでも良い。

現在の公園環境をぜひ残してほしいから。

つくば市が管理し、つくば周辺の利用する人の声を反映しやすく、利用しやすくしてほしいと思うため

茨城県が財政的なことを考慮するとこれまでの形では管理したくないという前提があるとのことのようですので無償、または有 償でもある意味「処分価格」でご提供いただけると助かります。

つくば市が今後管理するので、無償譲渡でよい。

つくば市民の愛される場所であるので、実情がわかっている地元で決めるべき。

グランピングなどは、他のエリアでするべき。他にも空き地はたくさんある。

県よりつくば市の方が管理しやすいと思うから

地元を考慮した将来設計が見込めるため。

県よりつくば市のほうが事情を把握しより最適解を生み出せそうだから

洞峰公園の環境を守ってもらいたい為。

いまのグランピング施設などを作ることには反対なので、つくば市に譲渡されることで作ることを防げるのであればお願いした いです。

県が安易な商業施設の導入を進めるつもりであるならば、つくば市に無償譲渡による移管を受け、地域住民のための公園環境の維持をはかることも考慮すべき。

市の中心部に、安価で利用できる広大で自然を利用した公共施設があることは、市の価値を高める。市外からも施設を利用するために大勢の人が来るので、市の経済も活性化するから。

有償譲渡になれば、利用料金が上げなければならず、人が集まらなくなり、広い観点から市の活性化を妨げる。

現環境を維持した方が良いと考えるため。

洞峰公園が計画性の感じられないグランピング施設やBBQ施設になるぐらいなら、今のままの方向性の方が良いです。

研究所の土地を大幅に利用出来るなど、敷地拡大が見込めるのであれば、公園を拡大して、新たな施設で収益性を高めることも 出来るのかなと思います。

茨城県の計画は賛同出来ない。

県が計画撤回しないのであれば、つくば市が所有すべきだと思います。

地元民が最も恩恵を受けるので、民間に売られるよりはつくば市で維持していただきたい。

つくば市が管理するのが良いと思うので。

この問題での県当局の姿勢は信頼できないので。

今後管理に費用負担が発生するため、

移管自体は無償で行うべきと考えるため。

県のPFI計画では折角の公園が収益事業により台無しになるのは目に見えている。

そこから公園を守るには、住民の声が届くつくば市が引き受けるしかないと考える。

洞峰公園の収支が悪いのを放置してきた県が挙げている案は良いとは思えません。

環境も大幅に変更して、収支もよくなりませんでした~。では納得できない人は多いと思います。

県営クラスの施設ではあるが、利用者、財政の側面から(過去の負債は別として)市が引き継ぐべき

つくば市民の利用が一番多いと思いますし、観光より住民の利便性を一番に考えてほしいので、市に管理してほしいです。

今の環境を維持して下さるという事で賛成です。

公園維持費で色々とご意見があるようですが…そんなに大変な事なのでしょうか?市長もおっしゃっていたように、説明会など の資料をみてもそこまで大変だとは思いませんでした。

県の収益性重視の考えに反対だから

今後の維持管理を想定すると、非常に勝手な意見かもしれないですが、最初の時点でなるべく費用を抑えたいと考えるのは当然ではないかと思います。

県は管理してくれません

詳しい経緯を知らないので理解不足もあるかもしれませんが、茨城県としては洞峰公園を現状の環境を維持する意思はないと私は捉えています。洞峰公園の自然環境を守るため、つくば市が主体的にどのように利用・維持していきたいかを決められる立場になること(無償譲渡を受けること)に賛成です。

移管されないと市民の希望するような保存がなされないなら、有償でも移管を受けてほしいところ。

少なくとも現状の公園を利用できなくなるのは個人的には避けたい。

茨城県にはつくば市内の公園だけでなく、県西県央県北鹿行と対応しなければならない地域も多く、茨城空港周辺の国道県道などつくば市から見ても管理して欲しいものがたくさんあるため、むしろそれらを優先して欲しい。

また、つくば市の公園となればつくば市民にとって使いやすいように運営しても反感を買いにくくなるなどより合理的だと思う。

県の引退したおじさん?、もういないかもあしれませんが、は偉そうにしてました。今はいい感じです。つくば市の方が市長何素晴らしい方なので、公園を活かせます。

現在の洞峰公園の維持のためなら、できる事は全て行なうことは当然の行為でしょう。

反対する意味がわかりません

市の意向で管理できる

収益化施設を作る県の方針に不信感を持っている。市で適切な管理をする方が良いと思う。

県は、収益化しか視野にないようにみえるから。グランピングで儲かると考えているなど、センスがあるとは思えない。

県管理では地域住民の意見というものが薄まってしまい、豊かな自然や静かな環境という価値が理解されないまま破壊されてしまう。それを防ぐためにも必要である。

洞峰公園はそれほど大きな公園でもなく、運動施設としても規模が小さいため、県全域から利用者を集めるような目的には向いていないと思う。つくば市を中心として計画的に整備するのが好ましいと思う。例えば、防災拠点などとしても機能するのではないかと思う。

グランピング問題があるので、県と市の相違があり、グランピングをなくすためには、私の管轄に置いた方が私の意見が通る。 しかし、大型公園なので維持費に多額のお金が必要になり、県からの助成金が必要だと思う。助成金は必須だと思う。

茨城県の管理下では収益目的の開発が行われてしまうから。

洞峰公園の素晴らしさは身近な住民こそ知っているから。

環境だけでなく、県の杜撰な運宮にも懲り懲りです。

県の指定管理者に対しての指導が行き届いておらず、以前、スポーツクラブの事で何人かで意見しても全く改善されなかった事があり残念でし た。

市に譲渡されたら、談合で決めているだろう指定管理者を早く変えてほしい。スポーツ教室で働いていて、パワハラをされて辞めざるをえなかった人と県に訴えても県は動かなかった。本人から事情聴取をしていても動かないのには驚いた。

五十嵐市長なら耳を傾けてしっかり対応してくれたと思うので市の管理、運営に期待したい。

つくば市ならしっかりやってくれると信じている。

県の方針には与したくない

より密な管理ができると期待している。

否定的な意見を逆手にとって話題になるようなイベントや改善を打って挽回してほしい。

県の方針と現状の利用には乖離がある。グランピングは一つの方策かもしれないが、実際つくばで使用者がいるか不明。デイ利用のバーベキュー利用はありそう。

金銭的負担は税金の負担につながるのでやめて欲しい

県の態度が変わることはないと思われ、これ以上の話し合いは時間と労力の無駄。

県から市へ管理者が変わることで、市民の意向を反映させた公園になるのではないかと思う。

ただ、緑地の管理にかなり経費がかかることは認識している。

公園名にはなじみがあるので変更してほしくないが、例えば体育館など、一部の施設をネーミングライツ等で収入を得るような ことはあってもいいと思う。

県の意向に対応するためにはやむを得ない。

予算の見直しを

譲渡後も問題なく使えるような修繕はしていただいた上での譲渡を望みます。

県の管理のままだとまたパークPFIが進められて環境が破壊されてしまうから。

利用しているのがほとんど市民なので、市民のニーズにかなったものにすべき

説明会で直接説明を聞き納得できる内容であったから

今後市の管理になり県の負担がなくなるわけだから 無償譲渡が当然

住民の声をよく反映するにはつくば市が良い。

無償譲渡による市、あるいは県のメリットとデメリットが今ひとつよくわかりませんが、市民からすれば無償譲渡はありがたいように思われます。

水戸に県庁を置く限り、茨城県には洞峰公園の価値が評価できないと思うから。

つくば市にあるのだから、市が管理するのが一番良い。

自分達で考え自分達で負担して自分達が享受する

茨城県が持っていたらまた意味のわからん(グランピングやバーベキューなど)政策が強引に進む

パークFPIの案に反対なので、それを避けられるのであれば無償譲渡がよいと思う。

県が所有したままだと、維持費が足りないと言ってグランピングなどを入れてしまう恐れがあるから。

無償譲渡が1番だがそれぞれ立場もあるため。

県と市、別の自治体で管理すると煩雑になります。シンプルにつくば市で管理や利用目的を市民と一緒に考えられることは理想だと思います。

現知事の、つくば市民の意見を無視した計画案に唖然としたから。

グランピングなどの施設は反対。長くは続かないと思う。

県のままだと、方針を決める際に、そこに住んでいる人、利用している人の声が届かない状態で決まってしまいそうだから。も し今の利用者が離れて行ってしまったら、もう合理的に収益を得ながら管理する方法しかなくなってしまいそうだから。

利用市民の声が届きやすくなるというのは嬉しい。

修繕などの責任まで全て渡された事には県には少し無責任さを感じる。

今迄の経緯から茨城県には管理を任せられない。つくば市民の目線での管理のために つくば市が管理するのが妥当。

茨城県としては洞峰公園のみに予算を傾注することは難しいかもしれませんが、つくば市管理となればまともな予算化が期待で きるため。どちらかと言うと市内の利用者が多いでしょうから本来つくば市で管理すべきと考えます。

今回の市への譲渡について、『グランピングはやめさせて、県にそのまま運営維持させればよかったのではないか』という意見をよく聞く。実際には、県(知事)は『グランピングありでの県のParkPFI』または、『市への無償譲渡』という2択しか示さなかったという事実だ。

さらに、このような乱暴な議論があったときに、つくば出身の県議もつくば市議会議員も、ほとんど傍観していたといってもいい。そして、いよいよ、譲渡となって、この案件の最終結論を出す段になって、全員協議会で説明を求めたと聞く。

このような議論の進め方は、スピード感・段取りが全く理解できない。

上記のように、2択である事情から、市への無償譲渡に賛成ではある。

市の負担増は避けてほしいが、望まない施設に変わってしまうのはもっと望まないから。

これまでの利用の仕方を継続できるから

茨城県の管轄になると以前提案されたグランピング施設などを作られてしまい、つくば市民の意図から外れてしまう。

有償譲渡となると、今後その費用を回収するために、お金儲けの施設が作られる可能性がある。

なので、茨城県から無償で譲り受けるのが現状の公園の状態を維持するためには最善と思われる。

自分としては自然が減少しているので、できるだけ開発をして欲しくないので止む得ないと思います。県は県で予算が大変な中、豊かなつくば市にこれ以上の投資をしたくないのは良く分かります。タダでもいいから手放したい、県の考えは最もです。タダであっても自然を維持管理するのは大変なことで、公園税を設けて生物多様性を維持したらいいと思います。

茨城県からの案に基本的には反対のため、維持の方向性を保てるのであればつくば市での管理が好ましい。

バーベキュー問題なように地元の理解受けられずに問題になるのであれば、無償譲渡された方が良い。上物は負債になるかもしれないが、市の中心に広大な土地をもらえるならば、アイデア次第でいくらでも利活用できるから。

県がグランピングか市の所有へのどちらかを選ぶしかない選択を示したことは疑問に思いますが、この2つの選択肢の中では現在の環境を残していくために市が所有していくことは仕方のないことかと思います。その中で、市民とともに協議会などを設置し、よりよい洞峰公園にしていけたらと思います。

中小規模公園については、身近な住民で、政策決定ができるほうがよいと思います。

替否ではなく、もう決定しているのでは?

更にアンケートを募る理由がわからない。

県が行う収益化の計画は近隣住民の意図を十分反映しているとは思えず、その管理団体をより地元に近い市にすることで十分な 対話が期待できるため

茨城県が今までの公園を維持しないなら、つくば市が担うべき

地元の公園は地元の自治体が管理するのが地元のニーズを反映させるためには必要かと思います。

賛成ですが環境を守るってなに?

また緑?もう沢山だよ。

車を減らす環境作りしてよ。

実際に利用することが多いのはつくば市の住民なので、生活に根ざした利用方法を考えやすいようにすることはいいことだと思 う

公園の所在地であるつくば市の方がより効果的に地域のための活用を考えてくれそうだと期待するため。

地域の人の意見が反映されやすくなるから

洞峰公園は、建設当時はまだつくば市が誕生しておらず、機能の高い公園の管理運営は力の足りない町村ではなく県レベルの仕事であったかと思いますが、本来、近隣住民の多くが日常的に利用するような公園は地元自治体が管理するのが妥当であり、市が生まれ中核的な都市に成長した現在では、県ではなく市が市民とともに管理運営するのが適当と考えます。

茨城県よりもきめ細やかな環境維持管理を期待できる(つくば市はこれからも発展していくと期待しているため)

県が管理するより、つくばで管理して、市民がさらに使いやすい施設にしてほしい。

市に譲渡され、さらにつくばの人が使いやすいように運営していただければ、譲渡される意味があるのかなと、、、

県が進める整備には反対だから

企業の力を借りて、様々なアイデアを出すべきだと思うからです。

金額にもよるが、大きな金額になるだろうから。

無償譲渡してもらって、つくば市民の意向を最大限くみ取れるような公園運営をしてほしい。

前述の通り、公園という公共財を営利組織によって供給しようとすれば供給過少にならざるを得ず、適切な手段ではない。茨城県の、パークPFIによって維持管理費を捻出するという方針は、洞峰公園が提供する美しく静謐な環境という最大の便益を損なうため、適当でない。維持するべきなのは現在の公園環境であって、収支改善のためにそれを損なうのは本末転倒である。

茨城県が洞峰公園をキャンプ場にという案が出た時、職場で話題にしましたが、皆さん一様に少し聞いてはいたが驚いた、とか全く知らなかった、ちょっと抵抗感がある、という感じでお話しされていて、やはり戸惑わせる内容という印象がありました。ですから、つくば市が茨城県に交渉して現在の環境を保護したいというスタンスで交渉して頂けるのはとても有難いことだと思います。

無償でないとする理由が知りたい。民間への払い下げではなく、県民の生活福祉に資する施設になるのだから無償で問題ない。 そもそも、国家レベルのプロジェクトで建設された町、そこに付帯する公園と考えれば当然無償であるべき。

二ノ宮は一等地だから。維持費ばかり負の面を捉えすぎる。

維持管理費用がかかったとしても、今、移管する流れの中、つくば市に移管する決断を下さないと、後々いろいろと条件・問題が 発生する可能性があるから

県に任せると、知らない間に何されるかわからない

県の運営案、グランピング、バーベキュー場等を作ってほしくないため、市への移管に賛成する

茨城県の案に全く賛成できないから

win-winとなると思われるから。

つくば市民にとって憩いの場であるから

無償譲渡を受けなければ公園にグランピング施設ができてしまうので、移管を受けるしかないと思う。

わざわざ洞峰公園でグランピングをする意味が理解できない。

つくば市民が最も切実な立場にあると思います、従ってつくば市が管理すべきもので、民間企業で働いて税金を払っている立場からすると、公園のような公共物を県と市の間で売買するという事自体、おかしな話としか思えず、無償譲渡が当たり前と考えます。

県の無謀な収益のみの利用より、つくば市が管理してくれるのであれば幾分か安心できると思うため。また近い行政になるので、何かと意見を届けたり届いて動いてもらう際にスムーズに早く済みそうで良いと思うため。

市民への還元を第一優先に考えてもらえると思えるから

市のものもは市で管理

県が手に負えず、ほとんどの施設を市民が使用しているなら、市が引き継いで市民の声を聞きながら維持するのがベターだと思うから。

昭和53年から筑波研究学園都市に住んでいる私としては(途中通算で20年ほどいなかったが)、洞峰公園は小さい頃からお世話になり、愛着もあることから、現状維持を望みます。そのためには、茨城県よりもつくば市が管理したほうが良いと考える。

利用者の多くが市民であり、県の方針(収益性のある施設の導入)に反対する人が多いというのが事実であれば、無償譲渡は市 民が望む判断といえます。

ただ、維持管理費を今後どうしていくのか、市民にどのような負担が発生するのかを明確にし、市民の合意を得たうえで移管に 臨む必要があると思います。

環境を守るために必要な措置と理解するため

県はグランピングを作るため、長い年月をかけて成長した大切な樹木を伐採する方針だから。樹木と共に希少な生き物の命を守らないと!

どういった経緯で公園が作られ、維持管理されてきたのか等によって事情が変わってくるため、一概には考えることが出来ないが、維持でないのであれば移管する他ないのではないかと思います。

民間が管理となると、公園のゆったりとした空間が失われる可能性が高いから。

本来であれば、つくば市としてだけでなく、県の宝として茨城県がその価値を理解して運営すべきであったと思います。しかし、それが望めない以上、つくば市が管理することは仕方がないことでしょう。

県からの移管を受ける前に、様々なメンテナンスをしてもらい、その後での移管となるよう、事細かにチェックをする必要があると思います。

県ではなく、市の管理下となることによって、市民の声が反映されやすくなることを期待しています。

譲渡されてから、市全体で考えた方が県に行末を委ねているよりも発展性があると考える

洞峰公園は、実質的につくば市を生活圏とする人達のための公園なので。

茨城県にはまかせられない横暴

市民のため、市で守るべき

県の開発意識が乏しいから

豊な自然を残してほしい。子供に自然や動物の体験をできる環境を継続してほしい。リラックス、リフレッシュできる自然を継 続してほしい。

県からつくば市に移管して、洞峰公園の自然を守ることは大賛成です。

この移行の経過に関して、つくば市長や関係者の皆様に心より感謝致します。

出来る限り洞峰公園の自然を守るために、清掃や観察活動のサポーターグループに入り、洞峰公園を守る活動を続けたいと思います。

民間にまかせると、収益を上げることを優先することは間違いない。それが民間企業だから。そういうことになると、誰もが気軽に使える公園ではなくなる。

環境が守られるのならば。

県にまかせていたら、日立海浜公園みたく、ヤクザな施設にされそう。

市民が、地域が、気軽に利用できる公園にしてほしい。

無償譲渡なら好条件なのではと思ったため

住民が最も適切と考える方向に進めてほしい。

グランピング施設、バーベキュー施設設置に反対だから。

県の方針は、公園の存在意義を忘れているように思われます。

もしくは、本件に関する県のお金の使い道の優先順位付けには賛同できません。

地方自治体が管理する施設が、その自治体が希望するような収益を生まない結果となった例は野球のホームグラウンドの例を見てもよく見かけるものである。なんでも、民間の収益を目標とするのはいかがなものか。

県立でなければならない理由は無いと思います。現状を維持するためには必要かと思います。

周辺住民の考えを反映させやすい体制とすることが必要なため

つくばのことを本気で考えてくれるのは市長はじめつくば市の職員だと思います。

そんなにうまくいけばいいけど。

市外の人間には公園であっても、つくば市民にとっては広場としての必要性を感じる。

地域住民の意見を反映させるためにも、県から譲渡を受けて市が公園を管理することが望ましいと考えるため。

つくば市は市中心部に近い市営公園が事実上ない(中央公園はあまりに狭い)。洞峰公園はその役割を果たせる実質的な"つくば市の中央公園"であり重要な存在となる。

予算的には厳しいと思うが、つくば市が管理した方が市民の意見を反映してもらいやすい気がするので。

- ・研究学園都市住民として、自然と都市との共生を全国的にモデルとして示す公園づくり。
- ・経費の云々ではなくつくば市民の環境、自然意識のあり方が問われる。

市で管理頂いたほうが周辺の他公園と合わせた公園利用計画をたてられると思う。市民の要望反映もしやすくなると期待。県、 市どちらの管理でもコスト負担の源泉は市民の税金なのでデメリットがわからない。

決まったのだから、これで進めるべき。

少子高齢化にともなう課題が次々に明らかになり、日常生活に支障が出る場合もよく見聞きする時代に遭遇しています。

茨城県は広く、人口分布から少子高齢化と合わせて過疎化にも対応を迫られています。

この問題を考える際に参考になるのは、滋賀県長浜市です。隣接する余呉町と合併しましたが、余呉湖周辺の観光が一気に衰えてしまいました。余呉湖周辺の草刈りなどに使われていた予算が、削られてしまったので、湖周辺の草刈りが一年で一周することしかできなくなったのです。草ぼうぼうでは、霧立ち上る余呉湖の風景もだいなしです。これは、5年ほど前のことですから、今は改善されているだろうことを願うのみです。

洞峰公園に利益を生む施設を作るという方針は、あるいはなかなか集客できないという事態も考えられます。

市民の参加を得て公園を、洞峰公園を守るべし、です。

県に返してほしいと思わせるぐらい、つくば市ならではの方策を示していって欲しい。何より県営ではない特色ある場所として、持続的に地元に愛される公園であってほしい

つくば市の洞峰公園であって欲しいから。

県に任せたら、金儲けのグランピング施設をいくつも作られてしまいそうです。

つくば市でも県でも構わないし、必要なら公金のとうにゅあもやむを得ないと思う。

どこが持つか、どこがやるかが重要なわけではなく、何をやるのかが重要だと思う。

環境を守るためには致し方ない

県(知事)の訳のわからない思いつきにバタバタするのはバカらしいから

つくば市は地方交付税をもらってませんのでこのくらいは頂きましょう。

- 1. あれだけの公園が市のものになる。
- 2. 市のものになればより利用者の声が反映される。
- 2. 譲渡にかかる様々な費用が、つくば市の予算規模に対して、大きすぎるとは思わない。

県の考えは、維持監理のためにキャンプ場等、収益施設の整備などを計画していたようだが、他の施設の状況等を聞くところに よると、周辺地域に迷惑をかける事が多いと聞いています。 移管が白紙となり運営が茨城県に戻ると、グランピングを核とした運用となり、設問6にある基本方針を維持できなくなると思うからです。また、洞峰公園は研究学園都市の緑の核として設置された公園なので、他の公園やペデを含む緑の回廊・緑のネットワークの一つとして一体的な育成管理をしやすくなり、つくば市全体のネイチャーポジティブの推進につながると思います。。

周辺住民の意見も聞かず、すべては県が経費削減を目的としたグランピング施設を洞峰公園内に作るというごり押しから始まった問題である。しかし、周辺住民の強硬な反対にあい、しようがなく、県側がつくば市に無償譲渡を持ちかけ、問題解決のためにつくば市がその提案を飲んだものと理解している。つくば市の無償譲渡を受け入れる立場を支持します。

県主導で商業施設となるのを防ぐため。

茨城県がわが、あくまでグランピング施設設置を主張するのであれば、仕方ないと思う。

負担は多少あっても、つくば市の自由に使えるようになるのは、災害時等にも、よいのではないか。

茨城県が勝手にグランピング施設を作ったり、市民の憩いの場であることを無視した判断をするのではなく、住民の意見を盛り 込んでコスト削減や収益化を検討するには、この選択肢しかないと思うため。

実際に利用者の多いつくば市が管理する事が最適だと思う。

緑が良かった

洞峰公園のメリットを享受しているのは茨城県民というよりもつくば市民といってよい状況のため。

洞峰公園を守って欲しい。他に任せたら洞峰公園の良さがなくなってしまいそうだから。

是非前に進めて欲しいです。

もともとは研究学園都市計画のための公園であり、広域公園ではないはず。

つくば市の施設であることの方が適当である。

地域のことは地域で決定できるようにしてほしいから。

県とつくば市の関係性を今後保つためには、金での解決はすべきではない。

県のグランピング案に反対だから

つくば市内の、特段観光名所でもない、公園で利用者のほとんどがつくば市民なのに、県が所有し管理し、市民が知らぬ間にリ ノベーションを計画するのはおかしい。

市の管轄に移すべき。

つくば市の魅力はつくば市民の力で維持すべきであり、茨城県の意向や懐事情に左右されるリスクは極力削減すべきと考えます。

茨城県もつくば市も、民間企業のように利潤を追求する団体ではないため。

県にも協力してほしいため。

市民の財産、公共物として市民の意志が反映されることが必要。

より住民に近い自治体で管理する事で住民の意見を反映しやすくなるから。

本来であれば、グランピング施設は作らず県の管理であれば良かった。大井川知事の市民の意見を無視した勝手なやり方は本当に腹立たしく、なぜ話し合いの場につくば市民を入れなかったのか疑問しかない。

また、グランピングを作るか市に移管するかの二択なのも納得はしていないが、グランピングの様な余計な物を作るよりは市の 管理にするしかないと思う。

この2年間の洞峰公園をめぐる様々なやりとりや検討がなされましたが、国、都道府県、市町村のどのレベルの責任において、管理するかという行政上区分の問題は別にして、この洞峰公園の素晴らしい環境を後世に承継すべきと言う事は、何ら疑う余地がないと思いますし、そこに異を唱える人はかなり少数派だと思います。そうなりますと、次は、ではどのようにそれを維持していくのかと言う議論になりますが、関係者の皆様方のご苦労の末、紆余曲折を経て、現場のつくば市への無償譲渡と言う答えが出されたわけであり、これまでの選択肢を踏まえて、これよりベターな方法論があるとは到底考えられず、現実的かつ妥当な方法であると考え、強く支持します。

洞峰公園にバーベキュー場などの商業施設を導入しようとする県の考えには反対なので、譲受は必要である。

つくば市にあるものなので。譲渡されたら、市の陸上競技施設やテニス競技施設を作るべき。以前、高エネ研南に作る予定で あった施設を作るべきだと思います。

改修費用を考えると市がそのお金を払うことになるから、県としても助かるはずだから

つくば市民の生活に根付いている公園であることから、市民の意見を尊重していくため。

毎年かかる維持費に加えて施設の建て替え等の莫大なコストを考えると100パーセント賛成とは言えない。

県が環境維持できず、市が管理可能であるならば実施すべき。

維持費が市税で賄えるのか心配

県の案では賛成できないため、ある程度の市税を投入しても、つくば市民が望む公園を整えていくしかないと思う。

住宅地にある洞峰公園のグランピング計画には反対であったためです。

この問題がおこるまで、県の管轄の公園とは知りませんでした。地域住民の憩いの場所というイメージの公園なので、つくば市が管理するのが良いと思う。

無償譲渡を受けないとパークPFIが戻ってきてしまうというのが、一義的な賛成理由です。

さらに、公園の特徴や地域における意義を理解しているつくば市が管理・運営していく方が、より有効且つ有益に公園を維持管理できると考えられる。

つくば市の自由に管理できた方が動きやすそうだから

地元の人たちが管理すべきと思います

つくばの子どもたちのため子育てに必要

市の財源が許すのであれば「つくば市の洞峰公園」であってほしい。

洞峰公園ができて相当の年数が経ち、建物が老朽化しているのではないか。将来、建物の補修や建て替え、環境整備に膨大な経費が掛からない か、心配。

市内に在る物は市で管理すべきである

自治体同志の話し合いの世界である。

グランピング、BBQはCO2増加等環境破壊の元

茨城県がこれまで通りの公園管理・運営を行うことができないと言うのであれば、つくば市が県のこれまでの方針を引き継いで 公園管理・運営を行うのが望ましいため。

地元であるつくば市が管理するのが理にかなっている。住民との意見交換もしやすいと思うため

県の行政は、指導者(知事)に左右され、特に現知事は現状把握を軽視していると思う。※地元の強い反対で簡単にバンザイした。 た。

茨城県の公園からつくば市のシンボル的な公園に。

どちらにしても、公園であるから、利用者に気持ち良く使えるほうがいいから。

県の管理が一番ですが、移管後につくば市が金額負担の管理ではなく必要経費割合分担、県の応援もあっていいのでは

茨城県は、利用状況がわからないので、つくば市が管理したほうがよい。コスト削減になることになるかもしれません。

無償譲渡がベストの方法と思うから。

市の公園は市が管理すべき

県の改革案が良くないから。

グランピングになるより、つくば市で管理して現状を維持してほしい

つくば市の財政力を利用してください

県の方針には賛成出来ない

無償譲渡の交渉経過をみて納得したので

ケバケバしい利益追求の公園化を防ぎたい。

つくば市民の人にもっと利用してほしいからです。

市に移管すると、その分管理する自治と公園の距離が近くなる。

県からの申し出は受け入れがたいですが、公園の環境を守るためには受け入れる必要があり、市の判断に賛成します。

県には市の立場から今後とも洞峰公園の環境・安全を維持していくように要望すると共に、市が主体となることには賛成するので。

子供たちがのびのびと遊べる公園にしてほしいです。

子供のことを考えてくれているから

市民の意見が反映されやすくなると考えるため

グランピングをつくば市の中心部に作る必要はないため

公園の環境を守るため

無償で受けられるなら、その方がありがたい。

県がつくば市民への配慮なくPFI事業を進めた事に憤りを感じたため。

つくば市民の意見をとり入れられやすくなるから。

県のもののままだとPFIによって環境が変化してしまうかもしれないから。

利用者に寄り添った運営、管理が可能になると思うから

グランピングやBBQ施設で飲酒や騒ぎたいだけのお客さんが増えるのは困る。県の公園ということは重々承知だが、利用は周辺 住民なので

地いきの人たちのことも考えてつくってほしいから

近隣住民の声がとどきやすくなるため

県がグランピング等の開発か無償譲渡しかないようであれば後者のほうがよいのでは?市で存続をしっかり検討した方が良いと 思います

県の方針とちがうので

管理費はなんとか解決等をさがして下さい。つくば市民の要望をいかして

今ある洞峰公園の環境を維持するために必要な対応策であると思うため

県の考えには賛同できない為

つくば市にある公園だから市が管理していいのでは?

県の方針は環境保全とは異なるため市による適性な維持管理を希望する

県の方針に賛成できない以上、無償で譲渡されるのであれば良い選択だと思う

市民の立場に立って維持管理をお願いします。

つくば市の公園維持の考えに賛成だから

県による管理になると自然保護、次世代への環境教育のためにとういう視点がないため。

温暖化の中、むやみに環境を壊さないで欲しい

生態系を守るためにも火気は使わないで欲しいです

身近にある貴重な自然をぜひ守り続けてほしい。

現在の洞峰公園の自然環境を是非守り続けて欲しい。

市が主体性を持って維持していく。

つくば市のものだから(土地が)

移管によって経営が改善するならば移管すべきだから。

県の案、グランピングやBBQサイトなどは絶対反対

市民の意見が反映しやすい

県が考えている洞峰公園の運営方針はつくば市の基本方針とかけ離れていると考えます。

市に移管されれば市民の要望がよりダイレクトに反映されるのではないかと思うから。

直接管理ができることは良いことと思います。つくば市ができてから数十年、時月の経過に対しての重さ、公園としての尊さを 大切にしていただければと思います。

丸投げするなら、無償譲渡は当然。

県の意向(グランピング等)に反対だから。

市の判断(市民)で事を進められる。

無償移管は嬉しいが、公園の整備、建物のメンテナンスに大きな予算が必要になってくるので、心配

地域市民による社会参加が必要

パークPFI事業には賛同できないので

グランピング施設やBBQ施設など住環境を破壊するようなものを勝手に導入されては困るから。

身近な人々の意見を反映しやすそう

県は目先の利益ばかり考え、住人(近隣)のことを考えてない

利用者のほとんどがつくば市と近郊からであるからつくば市の施設として主体的な運営をされることが良いと思う。

つくば市で住民の意見を大切にし、運営した方が良いと思います。

赤字はボランティア等でも埋められると思われる。不採算は廃止して広く市民の求める意見から取捨選択すれば良い。

地域に根差した運営が望ましいと思われるから

つくば市市民ファーストにして欲しい

県が責任逃れのような感じでつくば市に無償譲渡を言い出しました。県の無責任さにがっかりしました。つくば市民として洞峰 公園のゆったりとした風情をそのままにしたいです。

市のほうが県よりもきめ細やかな保全維持管理が期待できるため

県の運営ではつくば市を中心とした都市と公園の運営計画と施策するのに充分ではないと思うから

公園のひとつくらい、市という行政が守るのは当然かと思います

茨城県つくば市の誇る洞峰公園ではありますが利用者はどうしても近隣の者に限られますので。

今まで県の管理がずさんだったこと、市の管理になれば市民と協力しながらより多くの意見を取り入れ、もっと良い公園になると思う。

洞峰公園を無償譲渡されるとすれば、経費を少しでも削減できるように考えなくてはなりません。外路道の木の伐採、みどりの 駅の周辺でもほとんど木は植えてないので

つくば市民が主に利用する施設であると思っていますので。

市民が主に利用する公園であつので、市が管理維持するのが道理にかなっている

補助金の確保など維持に支障が出ないように考えてほしい

現在の洞峰公園の環境を守るために、しかし守れるかどうか管理、維持費の捻出等、如何にかかっているように思う、真剣に考えた方がよい。

グランピングには反対です

県は収益性のみ追及している

つくば市の方針に全面的に賛同します

そのままの状態が一番必要だと思いますので!!

茨城県が変な案をだすから、市で管理した方がよい。

茨城県側はこのごろの学園洞峰公園の囲りの人口が増しているので営利目的に使おうとしているがそれより周辺のお店等をふや して利園をあげた方が良いと思う

近隣住民が利用している率が高いので。試合のときは笠松でもテニスはしていましたが今は全然利用していません。近隣公園と して利用したいです。

県より市のほうがお金があるだろうから

県はグランピングを導入するから。

現在の公園環境を維持するために賛成です。

グランピング施設、BBQ施設設置は反対の為

茨城県にまかせていたらいつ自然がこわされるかわからない

地元の意向が何より大切

自然保護に使ってほしい

特に反対する理由がない

つくば市にある事。県の協力も必要

環境は守った方が良い。

つくば市の判断に納得したので

県による洞峰公園の管理には不満でした。管理費等市の負担が増えて申し訳ないが、私達の声も届けやすいと思うのでありがたい。

反対、どちらかといえば反対

管理の責任はもともと県にあり、県が安易に責任を放棄することになるのは、どちらかといえば反対。

市は譲渡を受ける判断をする前に、長期的に見て、公園の維持費が市の財政にどの程度の影響を与えるかを慎重に見極め、市報などでわかりやすく説明してほしい。

県が管理しないなら、つくば市民とそれ以外の県民は、利用料金に差をつけないとおかしいのでは…という気持ちもある。

現状の自然を守ってほしいため。

公園の維持費は変わらない中、一般会計の予算規模が県は一兆2,900億に対し、つくば市は、1085億円と1/10以下しかない。規模 に見合わない持ち物であると考えているから。

公園の管理が今まで通りできないと今後の地域の資産価値が、下がる懸念があり、そうなった際、誰が責任をとるのか。この公園があるから、この街に住んでいると言っても過言ではない。取れないのであれば、今まで通りに県に管理してほしい。

無償譲渡に至るプロセスが不明瞭で、市長の独断に感じた。大井川県知事ともっと話し合うべきだったのではないか。また、五十嵐市長は財源不足を理由に市立高校建設に動かないのに、洞峰公園の無償譲渡により毎年2億のコスト増はサッと受け入れてしまう。納得できない。市立公園よりも市立高校が必要。

市長は維持管理費に関しては、改修をすることで長く使うことで管理費を抑えるとしている。

施設の耐用年数を80年と扱い必要な費用を算定したとしているが、今後長期間の時間が経過する中でどれだけ補修に費用がかかるか市の調査だけで断定できるとは思えない。

今後新たな問題が発生して費用が増額された時にどのように責任をとられるのか。

一部の人の意見のみを市民の意見と考え、譲渡を決めてしまうのは市長の独断専行が過ぎる。

今後の費用負担は市民が負担することになるのだから時間をかけて広く意見をとりいれた上で判断をするべきだった。

維持管理のコストがかかるから

つくば市の税金を使わないで。

税金の使い方は、選挙に影響しますよ

この規模の公園を市がサービスを低下させずに維持するのは難しいと考えているから。

他の事に予算を使って欲しい。

市に移管されても現在の環境を守る事は無理だと思う。

不安

損得で勘定して下さい。ランニングコストは?修繕費は?これらを使用料、税金の値上げで賄うのですか?誰得ですか?

私は利用頻度が高くないので、市税を使って取得することには反対です。

利用者や公園の周辺住民の一部の意見で左右されないでほしい。

維持管理に必要な税金は既存の市の公園の充実に回してほしい。

市の財政負担が大きくなる。

永続的に支えきれない。

市民だけの負債になるから

このような大きな施設を茨城県から譲渡するとは、市民税がこれ以上高くならないか心配です。

反対。

市だけで運営できる規模じゃない。

老朽化した施設をそのまま譲渡されても困るし、施設の改修費をつくば市が少なく見積もって修繕せず運営していくことも困る。

年間1億5,000万円をつくば市が負担できないなら、県営のまま自然環境をまもったまま収益が見込める設備の増設はしょうがない。

無償譲渡はこれからの市の負担が増えることだということをはっきりと示して欲しい。

市民のことまで把握できない為。

洞峰公園の魅力度を向上させる方針に賛成のため、現状維持の上つくば市に財政負担が生じるということは市民として受け入れがたい。

県に維持管理は任せて、施設利用料を値上げするのがいいと思います。

予算が多いところが管理したほうが良い

もちろん、つくば市によりよい単純な値上げ以外の収益をあげられる計画があるのならば無償譲渡していただき経営するのは賛 成である 洞峰公園は県立公園であることに価値があると考えてます。市であの規模の公園維持管理は財政面でも厳しいかと想像していま す。市外の方もたくさん利用される公園の維持管理費用をつくば市民が負担するのは勘弁願いたい。

大反対!!

前述の通り。

そもそも総合運動公園反対したのに何してんの?

もう少し賢くなりましょう。

洞峰公園近隣の一部の住民の反対運動に加担してどうするの?

維持管理費をつくば市で負担する必要があるのか疑問。

無償譲渡後の市の負担について不安があるから。

今の環境での利用が最適だと思うから。

県が運営してくれるなら、それでいいと思います。

つくば市民の思いとは異なる部分もあると思いますが、

つくば市で大きな荷物をしょいこむ必要はないと思います。

つくば市財政の圧迫につながる恐れがある。

つくば市民の税金投入には反対。向こう三十年の維持費くらい県に出させるべき

経費の負担は避けたいため。

県が従来通りの公園を維持すべきと考える

譲渡ありきで見積もった施設維持のあり方、予算を再度見直し、施設建て替え含めた予算をしっかり算出してから譲渡されるべき。

今のまま譲渡しても、やっぱり見積もりより維持費掛かりましたという結果になりそう。

維持費を確保できないのであれば、移管すべきでない。

アンケートで無償譲渡について、意見を聞いておきながら、無償譲渡による移管が必要であると判断したというのは、論理に飛躍がある。アン ケートをしても、無償譲渡について、意見を反映するつもりはないとの姿勢がにじみ出ている。

うちの市長が申し訳ない。国家プロジェクトの研究学園都市、国、県、市が協調して取り組めば、土地の民間一括売却により、駅前はマンション、郊外は倉庫ばかりになる状況は抑制できた。今からでも遅くない、コーディネートを期待したいと茨城県庁にお伝えください。

維持費がかさみ、市の行政に影響が出そうなので。

高校を作るのに資金を回すなど、洞峰公園以上に必要なものがある。

自然の森などはつくば市内にはほかにも沢山あり、洞峰公園を頻繁に利用する徒歩圏内である身としても、自然を感じるためだけなら他に選択肢は沢山ある。

洞峰公園だけを特別視しすぎていると感じる。

老朽化の進む(保持、保全にコストがかかりそうな)公園を譲渡するくらいなら、市営でもっと多目的な施設を兼ね備えた公園、公共施設を新しく整備された方が良いと思う。

人口の多さに対して、公共ホールや、公民館施設などが既存のものは小さいし旧町村時代の古いものしかなく、つくば駅周辺に 小さな公共施設が点在していて、利便性なども考慮すると時代にそぐわないし、ハコモノ自体も足りていないように思う。洞峰 公園に固執する必要があまりかんじられない。

市が経費を負担するようになるため。お金があるならそのお金は他の公園に使ってもらいたい。雑草が生い茂ったりクローバー畑になってしまったりしています。

プールは自前で更新するお金を県に払って借りる形にしたら、県も喜ぶのではないでしょうか。

公園の施設が古くなり、利用される価値がなくなるのであれば反対。なぜ県がここまで頑なに収益性の視察導入のみを推進する のか背景が見えない。

将来的に維持できなくなったら大変だから。

つくば市民の中でも、洞峰公園の利用者は、主に近隣にお住まいの方だと思います。

多額の市税を使って運営することには反対です、

つくば市は広範囲に渡り、公園とは無縁の方が大半であり、譲渡を受けて市税で運営することは公平性の観点から問題があると 思います。

全ての市民の幸せを考えて頂きたいです。

経緯が悪い

市が管理維持するレベルの施設とは思えない。

また、県が示していた、収益取れる施設としての方針に特に違和感を覚えないため。

今後の利用方針が固まらないと進めるべきではないと思う。

グランピング施設の設置反対から市が譲渡を受ける羽目になったと理解している。このようなアンケートやこれまでの説明会などの仕事を背負いこまなくても、知事と膝を交えてこれまで通りの管理をしていくための話をして別の方法(無償譲渡出ない方策)を模索すればもっとベターな結論に落ち着いたのではないか。短絡的な結論になってしまったことは甚だ残念である。

市にはここではなく、別のところにお金をかけてほしいためです。

特に歩道の保全が疎かすぎるので、そちらに振り分けていただきたいです。

ペデストリアンデッキも、つくば駅前、センター広場まわりはギリギリ保全されていると思いますが、ろくまる公園や時の公園のほうまでいく ともうボロボロで、草も生え放題です。

西、東大通り沿いの歩道もひどい有り様です。折角歩道に自転車用レーンがあるのに、レーン上のアスファルトがボコボコで走りにくかったり、草で通れなくなったりしています。

先日日立市に立ち寄ったとき、意識的に見てまわりましたが、中心地から遠く離れた場所でも、きちんと保全されていました。

電動アシスト自転車の補助を出すことには大賛成ですが、自転車で走る道に、もう少し目を向けてもらないでしょうか。

県が今まで通り、責任を持って公園の環境を守っていただきたいです。

環境保全は第一優先と考えますが、樹木を伐採せずグランピング・BBQ施設を作ることは不可能なのでしょうか。公園南側の草野球スペースが 利用されているところをあまり見ないので、活用の余地があるように思います。

また、グランピング・BBQ利用者の存在が公園の安全を脅かすという意見を聞くことがありますが、それには賛同できません。過度な不安と感じます。

環境保全を第一に掲げるつくば市の姿勢には賛同しますが、皆が自由に楽しく利用できる公園であってほしいと願います。

つくば市に季譲後、維持費が削減され、今の美しい景観が損なわれてしまうのではと危惧しています。

単純に経費負担の問題で、環境を守る方向での県管理が理想かなと。

市民の税金を使うべきではない。

利用しないから。

それなら、運動公園をつくって欲しかった

つくば市に無償譲渡してしまうことはつくば市民に洞峰公園の管理を任せること。余りにも対象が小さいのでは。

茨城県民全てで守るべき。

財政状況や、市役所職員の負担が増えることに目が行っていない。

市で所有する理由がない。

市の負担が大きくなり、他の事業が縮小や遅延することは市民のためにならない。

現状を維持できないと思うため

県の計画を実行してほしかった。

今までも、県は洞峰公園の環境を守ってきていた。つくば市では、環境を守ることはできないと考える。

茨城県がグランビングのゴリ押しをやめないなら無償譲渡も致し方ないのかもしれないですが、

もう少しうまく交渉できないでしょうか?

現状、大井川さんとの連携、連絡不足感が否めず、県から冷遇されているように思います。

元つくば市民としては税収としてはつくば市が占める割合もかなりのはずなのに水戸にばかり還元されて水戸に新しい公共施設がどんどんできていて不満です。

現状だと大井川さんとのコミュニケーション不足によるツケを、

市民に押し付けているように見えます。

市の負担額が大きすぎる。

移管が市長の独断で決まった印象を受ける。県ともっと協力してほしい。

現状の市の案や予算では、これまで通りの安全性(歩道への落葉等の管理、施設老朽化への対応等)を保てるとは到底思わないので、市へ移管することには強く反対します。

その予算があるのであれば、必要とされている市立高校等をもっと真剣に検討していただきたいです。

人口増加中の市内の他のエリアに、新たにより良い公園を整備することに注力する事を望みます。

市の負担に対する考慮があまり見受けられない。県と市共同で公園を維持する道は無かったのかと考えさせられるから。

県の所有で十分。

するのであれば、推進したマンション住民や近辺の住民の負担にしてほしい。

県の管理のもと、観光地としての魅力ある施設になることは良いことだと思います。

グランピング施設ではなく、カフェに併設した子ども向け遊具を新設したり、神栖市の神栖市防災アリーナや神之池緑地のようにファミリーやペット連れが近隣から来るような施設になれば市外からの利用も増えると思います。

県がやってくれるものをわざわざ市がやる必要がないと思うから。

大きい施設なので今までのように県に運営して欲しい。

これからかかる施設費(修繕費)についても不安だらけ。

県がキャンピング施設を作る予算があり、それによって維持費が賄えるのならつくば市に無料譲渡しなくても県の施設のままで あって欲しい。

単純に費用面で懸念しかない。

洞峰公園の管理費には多額の費用がかかるわけですが、県は管理費削減のアイデアとしてPFI事業を導入しようと計画しています。その計画の一部についてグランピングやBBQ施設の設置について市民から反対意見が出たわけですから、反対すべきは「計画の内容」であってなぜ市が財政を負担して無償譲渡を受けるのか疑問に思います。また、計画されているグランピングやBBQ施設の設置は多くの方からの意見のあるように永続性に課題があるように思います。であれば、採算のとれない事業はいずれ見直しを入れざるを得ないわけなので、グランピングの経営が傾いたタイミングで、市民から寄せられた意見を元に市からPFI事業者に事業の見直しや現実性の高いアイデアや意見を提案していく方が得策かと思います。

【グランピングについて】

そもそも反対意見の多かったグランピングについてですが、塀で囲めば酔っ払いがうろつくこともなく、子供たちに見せなくてすむと思います(計画にもあったかと思います)。夜間の心配意見も多々ありましたが、花火の禁止や消灯時間の設定を設けるなど運用面についての課題の範囲かと思います。周辺住民からの騒音の意見については元々グランド、道路を挟んでいますし、車の騒音の方がうるさいと思います。 そしてなにより湖は望めず、ただの公園の塀の中の高規格高単価キャンプ場になり、夏暑く、冬寒く、平日梅雨は人がはいらず企画倒れの事業になってしまうのではないでしょうか。(最初の年だけご祝儀が入るかと思うので2年目以降に市からの視察を依頼したり稼働状況を聞いたの

【プールについて】

周辺の学校がバスを用いてプールを利用することでの回収費用の削減ということでしたが、各学校生徒がクラスから並び直してバスに移動し、公園ではまた並び直してプールについて着替えをしてと。しなければならないタスクが極端に増えてしまいます。途中雨に降られれば傘の折りたたみも発生してしまいますし、車酔い、トイレの問題もあります。学校から公園への移動は先生、生徒にとって時間を要し負担をかけることになると思います。(並び直しのたびに必ず怒られる生徒と怒る先生、それに合わせて疲弊していく他の生徒がいることをご存知でしょうか?)公園の経費削減のために子供達を犠牲にしない欲しいと切に願います。

無償譲渡後の維持費をつくば市で負担することが妥当ではないと考えられるため。

ち、市民からの苦情を言っていけば早ければ2、3年で消えてなくなるのではないでしょうか?)

市税より県税で維持してほしい。県税におけるつくば市の納入割合は知らないが、県第二位の市民数の市としてそのくらいの税金投入先があってもいいと思う。

一部のつくば市民が喜ぶ現状より、駅から遠くもないグランピング施設の方が収益的にも現実的で良いとも考えるので。

用地取得の経緯は知りませんが、県立の公共施設ですので本来は県が将来にわたって管理運営に責任を持つ必要があると考えます。ところが、基本方針に反して公園の形質を変えなければ経営が成り立たない状況に至ってしまいました(私の誤解でしたら申し訳ございません)。それを貴市が引き取ることはよいとして、土地は県の所有のままでも管理はこれまでと同規模の予算として貴市に有償で委託することが本当なのではないかと思います。これまでの貴市と市民、県の間における交渉の経過にそぐわなければ、本意見は無効としてください。

市に運営能力があるとは思えない。維持管理は出来ない。県の収益化に反対して無償譲渡を提案して、市が収益化を検討するとか、矛盾しかない。

つくば市内のごく一部である周辺住民の意見ばかりを尊重し、将来にわたって維持管理に多額の市税を使い続けるのは納得できない。 周辺住民たちは至近に公園があるという恩恵をずっと受け続けてきたが、ほとんどのつくば市民は公共交通機関を使うか、自家用車で行き駐車 場利用料金を支払わないと利用できないのです。

県が計画したグランピングなどの施設は、広大な公園のどのくらいの面積を占めるのか、どのような配置にするのか、情報が無くわからない。 公園全体がそういう施設になるのだとしたら考えてしまうが、仮に半分程度だとしたら半分は保たれる訳で、その程度なら問題ないと思う。 自然を求めるなら、つくば市の北部なら自然はいくらでもあるので来ればいいし、何なら移住されてはどうか。

空き家は沢山あるし、子供の数が激減しているので大歓迎ですよ。

自然も利便性も手に入れられる環境は、かなり贅沢だと思います。

収益施設が増設されないから

県所有のままでいられるのならそうしてもらいたいです。

洞峰公園施設の老朽化が進行しており、その魅力を十分発揮するためにも公園施設を適切に更新し、都市公園の質を向上させることが重要である。茨城県は、都市公園法に基く国土交通省による「公募設置管理制度」を利用した洞峰公園の維持管理を計画した。その計画を県の責任において実施することについては、県によるフラワーパークの大規模リニューアルの成功などを見ると、頭ごなしに否定されるべきものではない。そもそも県民全体のための公園であったはずなのに、一部周辺住民の強い意向を優先してつくば市に無償譲渡することの正当化は難しい。また、つくば市が、移管に伴って今後永続的に背負うことになる膨大な管理費の財源を市民の賛同を受けて確保し管理をし続けることができるか疑問である。筑波研究学園都市の公園緑地計画の基本方針にそった形で洞峰公園の魅力を十分かつの持続的に発揮していくためにも、十分な資金とにもとづく適切な維持管理が必要である。長期的に見た場合、洞峰公園のつくば市への譲渡は、現時点で県の計画に反対している一部周辺住民にとっても望んだ結果につながらないかもしれない。

赤字経営の施設をつくば市民だけで負担していく必要はないし、負担したくない。

市内でも遠方の市民は利用頻度も少なく、市民税が同様の負担を求めるのは反対。

膨大な管理費用が必要なため。

そもそも茨城県が進めようとしていたグランピング施設など収益性のある施設を建設するという案が良いと思っていたから。

県からつくば市へ無償譲渡による移管を受けることは反対です。現在つくば市は人口が増えて市の財政は問題ない思われますが将来の財政への負担を懸念します。

前述の通り。

洞峰公園の地元住民として、県の方針を賛成していたので。

県から市に丸投げするのはひどいと思う。

県で維持できないことを市でできるとは思えない。

市税が増えるのは困ったこと。

名瀬県が、管理しているものを、市が、管理するのか、全くわからない。

私の近くにある公園を、見たことが、ありますか?ベンチは、ボロボロで、座れません。テクノパーク上郷周辺の公園ですが、本当に、きちんと管理しているとは、思えません。

つくば市周辺の地域は、道路も、陥没や、盛り上がりが、あむても、なおしてくれません。

街路灯も、中心部と比べると、貧弱です。

格差が、あると思います。

税金の使い方が、全くできていません。

全てにおいて、周辺地は、酷いです。

どうほうこうえんを、移管する前に、考えて、欲しかったです。税金の使い方が、市長は、間違っています。

譲渡後の維持管理費が心配

ここまで書いてきた上記の利用により、移管には反対です。

つくば市の管理になれば、維持費がかかるのは明らかなので、市民がほかに必要としている他のサービスが他市と比べて劣って しまう。

例えばワクチン補助、学童保育時間延長等は今でも劣っていると思います。

茨城県の提案のほうが魅力的かつ現実的であり、つくば市が管理することによるメリットはほぼないと言って良い。毎年億単位 の税金を支出しなければならないほどの価値が無償譲渡にあるとは思えない。

公的施設は外部委託は向かないと思慮します。

洞峰公園の環境を守る為と綺麗事を並べていますがグランピングは利用されていない野球場部分であり予定されていた駐車場も 公園の景観を大きく潰す様な計画にはなっていませんでした。

洞峰公園老朽化対策を後回しにして将来公園管理が難しくなった時には「環境を守る」を進めるつくば市の担当は責任を取れないでしょう。

財政の裏付けのない「環境を守る」は洞峰公園を愛する市民をかえって苦しめるだけです。

他のつくば市の公園(二の宮公園や桜南スポーツ公園)を見ていると、

今の洞峰公園ほど整備されていないと思う。

いずれ洞峰公園も同様に劣化が進む事となるように思われる。

現在の洞峰公園の環境を守られるとはとても思えない。

譲渡を受けるメリットが無い

つくばの一部の地域の人の意見で、赤字の公園をつくば市全体の税金で管理運営していくことが不満なため。

公園の維持管理は、想定外のことも含め多額の費用がかかると思うので、無償譲渡とはいえ危険だと思います。

今の試算した金額も、近年の物価上昇を鑑みると、大幅に超えることもありうるのではないでしょうか。

県がやってくれるなら、そのままお任せしておいた方が得策だと思います。

ある意味、洞峰公園の環境の維持とは引き換えにならないくらいの不良債権を抱え込む可能性もあると思います。

県からの提案に反対反対ばかりで、県から匙を投げられた形。

市民ネットワークの方達が反対してきた付けが回って来たのです。

素直に謝って県が管理する形に戻したほうがいいと思います。

市民ネットワークの方達のせいで、つくば市が高額な費用を使って維持管理するなんて有り得ない。

公園の形も時代に合わせてグランピング良いじゃないですか。

治安が悪くなるのを心配してるようですが、心配し過ぎです。馬鹿げてる。

つくば市の公園は多少の差はあれど、その管理が完璧に行われているとは思えない

さらに、洞峰公園を取得したところで無駄に税金を浪費する状態を引き起こす事が想像できる。

市民に税の負担がかかる。

- ・市として将来に渡り(建て替え、修繕費を含む)維持費負担の見込みがないのであれば、わざわざ管理を引き受ける必要はない。
- ・公園を管理する県の判断により、収益施設の導入や利用料値上げを実施するのは仕方がない。

税負担が多くなる

公園環境を守るために無償譲渡を受けるのは、筋違いだと思います。例え収益をもたらす事業を行っても環境が変化しないような方法とか施策があるのではないでしょうか。

もう少し市民を交えて検討する時間が有っても良かったのではないでしょうか?

市長は財政がひっ迫していると高エネルギー南地を早期売却しましたが、今後市の維持費負担が増大します。削減策は検討されておりますが、 数字合わせは簡単です。

もっと多くの市民の声を吸い上げるよう望みます。

だれ一人取り残さないと仰っていた市長様よろしくお願いします。

維持、管理が大変になると思う。

環境維持のための予算確保方針が不明確だから。

資料「よく頂く質問のQ2」には、「県のPFU事業を受け入れるか、或いは、つくば市が無償譲渡を受け入れるか」のいずれか、しかない(県の考え)としていますが、これまで県が示した資料では「2~3割程度の利用料金の値上げで、これまで通り運営できる」ことが示されていました。なぜこの案を住民とともに検討しないのか理解できません。茨城県民であってつくば市民である私たち当事者には、上記の「PFU案または無償譲渡」という選択を強いられる理由はございません。まず第一のこの点について「過去に決まったこと」という行政同志の身勝手な論理ではなく、正面から議論すべきものと考えます。もし論理を変えないのならば、県民・市民の不利益となる事項がないことを、引き継ぐつくば市の予算措置を含めて示して頂きたい。

次に、つくば市には旧住宅公団が整備した公園が多くあって、その利用率はかなり低いと考えられます。洞峰公園をこれらと同等レベルで維持管理・運営しようとするならば、これまでに比べ相当にレベルの低い維持管理状況となることが考えられます。何年も前から「他の公園のテニスコートが空いていても、洞峰公園のテニスコートは埋まっている」のは普通の状態です。これまで通り総合的に優れた環境でテニスをしたいという県民・市民の需要を、県と市の行政の調整で劣化させてしまうことは許されません。

グランピング問題については、私も周辺住民の一人として懸念はありました。ただその対応は、県と事業者に対して十分な安全対策や環境保全の取り組み、また周辺住民からの相談窓口の設置や確実なクレーム対応等を条件として課すのが本来あるべき姿と考えます。実質的にグランピングを止めるためだけに譲渡を受け入れ、毎年数億円単位の市税を今後投入し続けるのが本来あるべき姿とは考えづらいです。

毎年数億円単位の予算があるなら、子供や高齢者含む歩行者の安全確保のための街灯整備や歩道整備、周辺地域活性化のための取り組み、その他の老朽化している既存公園のリニューアルなど、より多くの市民に望まれる選択肢は他にもあるのではないでしょうか。

また、グランピングが環境破壊に繋がるとしていますが、筑波山やフラワーパーク等、既存のグランピング施設は他にもありますが、これらが 出来たことでどの程度環境が破壊されたのか、それは受容不可能なほどのものなのか、といった検証は十分にされたのでしょうか。

更に、更新費用についても、市は築80年経過するまで使うと仰いますが、築100年まで利用可能とは流石に考えづらいため、仮に更新費用が30億超、30年超後に更新するとしたら、実質的には年平均約1億の負担が加わるはずです。それも加味すればコストは年1.5億ではなく年2.5億と報告すべきであり、こういった点で実質的なコストを過小に評価させようとする市の姿勢にも不信感を抱きます。

住民投票や、あるいは市議会で更なる審議を重ねるなどの対応が必要と考えます。

はこものいらない

市の負担ふやさないで

維持費、設備の更新費用負担が大きすぎる。

茨城県から譲渡されれば、限られた予算を洞峰公園に回さざるを得なくなり、公園の新設や他の公園の設備の更新や維持、新しい遊具の導入などに影響すると考えられるから。

予算は市内の公園全体の改善にあててほしい。

急いでいる理由を知りたいです。

つくば市のみんなに知らせる時間がほしい。

維持管理費用を市が負担することに反対です。まず、ない袖は振れないでしょう。

また、市が無償譲渡を受けた場合に、私の住む中で言えば並木公園や桜南スポーツ公園などの維持費などに影響があることを大いに懸念しています。他にも何かの費用を削減することになるのでは?絶対に反対です。

総合運動公園が反対されているのに新たに公園を管轄するというのは辻褄が合わない。ならば総合運動公園を建設するべき。

維持管理費につくば市の税金が使われること。

身勝手な考えだが、資産、施設を引き取ると、将来的にランニングコストに悩まされる。(遠い将来?、人口減と高齢化で収支 が厳しくなるのでは?)

補修費・維持管理費捻出の具体案もないまま、無責任な反対により茨城県に喧嘩を売り、市民や市議会の意見を聞く前にSNS上で独断発信をし茨城県に喧嘩を売ってしまった市長というこの流れは明らかに市民無視の進め方であり、誰一人取り残さないを標榜するつくば市現市政からは逆行している進め方であるため。

つくば市は必要な修繕コストをきちんと説明しておらず、不誠実だから

ランニングコストが想定以上にはかかるはず。見込みが甘い

県の計画に賛成でした。税金を使ってまで今の状態を維持する理由が全くないと思います。

つくば市が単独で将来的な維持管理費を負担するのはおかしい。

つくば市がこれからの運営を担うのであれば、耐用年数が近い施設は全て、茨城県により、建替、撤去を行って貰い、維持管理コストが現時点で最小限の整備をしてもらった後、無償の受け入れをすべきである。茨城県もコスト負担に耐えきれず民間施設の導入を考えたと思われるので。

今回の一連の経緯を見ると、茨城県のシナリオに、つくば市がまんまとのせられたのではないかという疑念が拭えない。

茨城県は、わざと地元が反対するであろうグランピングやBBQ施設などを示し、今後財政的にお荷物となっていく公園施設を地元自治体に押し付けようとしたように見える。

本来ならば、これまでのように県が運営するべきだと思う。

どうしても必要なことがあれば、つくば市も一部運営費の負担に応じるような形態で決着すべきだったと思う。

市の政治的交渉能力不足を感じた。

洞峰公園の環境を守る理由は何でしょうか?

前述にも言いましたが、今のつくば市は、環境を破壊してできた研究学園都市ではないのか?と、言いたい。

施設の老朽化しているものを、補修や修繕で維持していくのは限界があるように感じます。

県が推進していた、グランピング施設にしたほうが良いと感じました。

県の予算で済まされるものを、わざわざ市の予算で負担するのはどうかと思います。公園整備よりも優先すべきことがあると思います。

維持には多額の経費がかかる。もともと県民の共有財産なので当初の計画どおり県が所有しグランピング施設やビアホールカフェなどを作り費用を捻出すべき。近くの一部つくば市民のみではなく、県内広域から訪れて楽しめる公園にすべきだと思います。

人口予測をもとに財政推計も今のところは上向きかもしれません。

それでも、市民に目を向ければ、21世紀になって四半世紀が過ぎようとしているこの時代にも、子どもの貧困やヤングケアラー、不登校、独居老人等の問題が続いています。

そして、半世紀以上に及ぶ「格差是正」という議員の声の元、コミュニティプラントではなく公共下水道事業を推進してきたつくば市で、ようやく今になって、我が上作谷で下水道本管敷設工事を行っています。また、水道料金値上げの時の市内全域に公共水道をという計画の進捗状況はどうなのでしょう。

多分15年か長くて20年で生徒数が減少していく学校建設等に最優先で予算や職員を動員している状況と思われますが、建設が終わっても上記のような対応すべき様々な課題や研究学園都市つくば市ゆえに行わなければならない各種事業等々がある中、たとえ当初は数千万であっても、数年先の財政負担を考えれば洞峰公園の移管は避けるべきです。

我が家が下水道に接続できるのは、いつの日になるのでしょう? その頃に、上作谷に住人は何人いるのでしょうか?

自然豊かな公園、そして県の施設のままで良いと思います。

既往の市営公園の維持管理、環境改善を優先すべき

市内中心部においては、中央公園などの近接公園が多々あり郊外部からすると不公平感が否まれない。

洞峰公園の維持費負担が将来にわたってつくば市負担になっていく。これまで通り、県の費用で公園施設を維持してもらった方が住民負担の心配がない。

市営は二の宮公園がある。

管理状況をみると二の宮公園が2個になってしまうのでは?

県の予算で維持してもらえればよかった

県民全体の財産であり、管理者が勝手に賛って良いとは思わない

建物も劣化し、整備にも費用が掛かるし、維持管理にも費用が掛かり、負の遺産をもらうようなものであり、つくば市にはなん のプラスにもならないから

県のグランピングに賛成

なぜ赤字を増やすのか分からない。

県で考えるべき案件と思う

市の負担が増すだけ

つくば市の最大の責務は市民から集めた貴重な税金を最大限効率的に市民に還元することである。無償譲渡を受けると多額の維持管理費が発生し、新たな負担となる。また、無償譲渡を受ける目的として環境を守るためとしているが、これは公園の所有者である茨城県の責任であり、その為に無償譲渡を受けるというつくば市の判断は大きな誤りである。

つくば市は茨城県から無償譲渡されたら、ほったらかしにして、樹木や建物がくちはてるのをほっておくだけでしょう。

結果的に市に公園の維持管理費が移管され、県としては助かったのではないか?2者択一しかないというが、そのような行政間の調整に双方に問題がある。

県が管理してきたからある程度の施設や各種クラスの質が維持されてきたのではないでしょうか。裕福とは言えないつくば市が それを引き受ける根拠がわかりません。

安易な値上げにつながる可能性が高い。

もう少しつくば市は県と調整してもらいたかった。例えば管理は県とか運営については市とか。

県の管理のまま市小中学校のプール授業をやってください

プールの授業で洞峰公園プールの全レーンを使わなくてもよいのでは

洞峰公園には多額の費用がかかるので、税金がもったいない

グランピング施設等が始まると自然がこわされるか心配です

現在の環境は守っていきたいが経ヒ面での事を考えるとむつかしい。

無償譲渡となると保全面での経費が発生。

住民税が上がる。

つくば市の支出が増加する。

環境を守るために無償譲渡というが、根拠不明であるし、何をもってそう考えるのか?

県で維持管理できないものが、市で維持管理できるとはとても思えない。

その他、どちらでもない

議論について行けておりませんので、投票棄権いたします。

県で管理してもらう方が、利用料金が少ないのなら、反対だし、料金を変えずに環境だけ良くなるのなら賛成だ。

よくわからなかったから。

県は、ただ単に無償譲渡にすれば自分たちの手間が省けるからだと考えます。色々と費用がかかる部分を考えれば、ただで手放 した方が楽だからでしょう。そこは、十分に検討し修繕があるものはしてもらってからでないと痛い目にあいますよ。

譲渡の実現是非でなにが変わるのか情報ご足りず分かりにくい。

つくば市は現在どんどん人口増えていってるので、維持管理費の捻出が出来るのでは、と思うが、公園管理のノウハウがどれほ どあるのか分からないので、移管したことによって悪変する可能性もあるのでは、とも思う。

有償になる場合のメリット、デメリットが良くわからない

バーベキュー場やグランピングなどを作るしかないと県が言うならそれには反対なので無償譲渡もしょうがないと思うが、そうなった場合にどうしていくかをしっかり決めていかないと、維持費に市税をたくさん取られれるのはどうかと思う。

市税全体の使い道なのでは?

どちらともいえない、むしろ反対に近いかと思う。県はこれまでの姿勢を正してほしい。

これまで使用で老朽化した施設は、利用料を歳入してきた茨城県が修繕すべきだろう。

周辺居住民を含む市民、つくば市が公園運営により関われるように、もしも譲渡を受けるとしても、維持管理費(歳入歳出)の 負担は、県・市の両方で負担するなど、最低限してほしい。

すでに茨城県から無償譲渡による移管を受ける必要があると判断しているとのことなので、もう市民に賛成か反対か意見を聞く 必要ないと思うから。

利用者にとってはどちらの所有だろうとあまり気にしない

つくば市の思い通りにする為に無償譲渡を使うのは良くない

維持費が大きいから、どうなのかと心配なだけです。

そのメリット・デメリットがよく分からない。

茨城県への無償譲渡による影響が分からないため。

市の判断で考えてもらいたい。

県の考えが不明瞭なため。

県が市民の意見を反映して管理するのが理想だが、県に任せていると、現状のように計画都市への経緯のない変更をされてしま うのならば、市が管理するのは仕方ない。しかし、応分の負担を県に求めるべき

利用者の一番有益な状態になるのならどちらでも構わない。

県の公園として県内から集まってきているので、これまで通りでも良いと思いますし

市に移譲されるのであれば、市が維持管理費を明確に示して長期的プランを示すべきと思います

管理費などで市の財政に負担がかかかると思うから。

近隣小学校中学校の水泳や運動の授業に活用できるなら、良いかなとも思いますが。

茨城県管理のままで、水泳の授業に使わせていただけないものでしょうか?

各校で年に数回しかない水泳授業のために、夏季だけとはいえ管理するのはお金も、先生たちの時間ももったいないと思います。

洞峰公園で無くても、近隣のスイミングスクールと連携して、学校の水泳授業は外注が良いと思います。

よく分からない。以前グランピングなどの施設を建設する計画や反対運動をされている方に署名を頼まれたりしたが、つくば市が管轄する様になる事でそういった施設の建設をまた計画し、実行に繋がる可能性が生まれるのならば反対する。

現在の洞峰公園の環境を守ることが正義で、県は環境を守ろうとしていないから悪で、県から無償譲渡で移管する、、、市と県の安易な対立軸に話が単純化されすぎていると思います。現在の環境を守ることは本当に良いことなのか? 県の施策は本当に環境を守ることに対して悪いことなのか?

何とも言えない

市が現状維持と判断して無償譲渡を受け入れるのであれば、それでいいと思いますし、そのために必要な維持費はしっかりとつけるべきと思います。

維持費が高いからという理由で、結局県が計画していたことと同じことをしようとするなら、ただ県に都合よく管理を押し付けられただけになって、最初から県にやってもらえばよかったのにと思います。

興味がない

つくば市が何をしたいか分からないので

イマイチやり取りがよくわからないから。

環境を守るためにという移管であれば賛成です。

言い換えれば自分達で費用を捻出するという事にもなるかと思うので、税金が上がるんじゃないか・何か他の部分で街の修繕などが疎かになるんじゃないかと少し心配です。

綺麗に保つだけでも多額だと思うので、何か良い収益化があれば良いですね。

基本方針を維持した管理は県でも市でも可能なはずである。

市外の利用者も多く見かけ、公園が機能を回復するにつれ本来は広域機能を持つ公園のはずだ。

つくば市はウェルネスパーク整備というアクセス困難地に高機能公園施設を整備する失策を犯しており、つくば市に移管することは洞峰公園の機能低下につながる構造的問題を市政に抱えることになるだろう。

県から市に移行したら何が変わるのかがわからない。

上記の意見通り、収益を考えつつ現環境を守れるのであればどちらでも良い。

譲渡されたら何が変わるのかいまいちよく分からない。

よくなるのか悪くなるのか判断ができない。

どのようなメリットでメリットがあるのか周知されていないのでなんとも言えません。

メリットデメリットを理解していないため、わかりません。

情報が少なく判断できない。

無償譲渡を受けることで、図書館や高校の建設を諦めなければならないようであれば、県管轄のままで良いと考えている。

意図がわからないから。

県が収益が上がらないからといってつくば市に移管するというのは公園、いわばコモンズの意義を考慮する点からして大きく疑問が残るが、県があくまで公園に意義を認めないのならば利用料等は今後勘案するとしてつくば市が引きとるのは無難であると思うので、一長一短ということでどちらでもない。

もし本当に今の状態を守るための移管なのであれば賛成。

つくばの収入を上げるための商業的な目的で移管するのであれば反対。

管理者については拘らない。必要があるという結果が出たのであれば、実施すべき。

正直、森林伐採は絶対ダメというお気持ちが優先されての無償譲渡なのかなと外から見てて思います。

公園を維持していく為には収益性も必要で、県営でも市営でもいずれは多少は環境を変えていかないといけないと思うので、ど ちらでも変わらないのかなと思っています。

わかりません。

茨城県で施設の維持

つくば市で施設の維持でのメリットでめりっとあると思います。

こういうケースでは県が市に売却することが、意味があるのか分かりません。

茨城県民でありつくば市民なので。結局税金では…

タダほど高い買い物はないと考えている。

環境維持をしてくれる方を応援したいと

無償譲渡ではなく、県と市が共同で負担する案を提案します。

県にとっては費用負担は今までの半分。市の負担も半分。利用料の値上げや市民負担は必須です。

自然と共生という地球規模の視点で考える機会にしてほしい。

緑の多い場所は他にも沢山あるので、企業が買い上げてショッピングモールや医療施設になるならその方がありがたいです。

本来、県の費用で維持管理すべきだが、県が放棄したのなら、譲渡を受けるしかない。

有償でもいい、ただ管理費は県も負担する要有りと考える、無償だから管理費は全て持てとは稚拙な考え方。

譲渡前に設備の修繕、建て替えを含むは済ませてほしい

無駄な負担があってはならない

そんなの知らない。

つくば市が管理できる予算があるのであれば、洞峰公園を受け入れればいい。

大人なのだら、お金がないのに物を買う、譲渡を受ける、その後の未来が想像できないのか?

詳しく詳細を知らないから

今の状態が維持できるなら、県管轄でもよい。

この件については十分に背景を把握しきれていないため、回答を控えさせていただきます。

発端は維持管埋費抑えようと民間に入ってもらい事業をしてもらうと方向でいたが、その内容が沿わない団体住民による圧力で一旦白紙され譲渡に繋がり市長が動くことになった。

本来土地の売買で成立となるなら、県に維持管理費を起てる必要は全くない。反対派団体がそれでも県に維持管理費を払えというなら考えおかしいと思う。全体的につくば市は大威に助成されてきたわけであるし、政令化になるなら自己でやるしかないと思う。市が維持管理が本当にできないなら県と詫びし、宿泊ない公園維持管理をしていただきたいと模索してもいい。

維持管理費の再度整理し、設備の価格を抑え、また耐久年数を可能な限り上げることが専決。それ以外に万が一の設備不良発生での急遽保険費の維持費を持ったりしないといけないと考える。

利用環境が維持されればいいと思うから。

現状で問題ない。

「パークPFIの導入」「市への無償譲渡」の二者択一が前提となっていることに疑問を感じるため

将来的に洞峰公園が市の財政を圧迫するのかよくわからないので、どちらとも言えません。

維持費がかなりかかるので、市だけで保有していくのは大変だと思います。

施設の維持管理を考えると、無償提供されても、その後の管理費はどうするの?

収益性を上げることに反対するから あとは つくば市で面倒を見ろ! ということに

よく分からないから

市を運営する立場で収益リスクを考慮せずに環境保全の観点で判断したのなら呆れてしまう。

公園がいらないわけではないが、コンパクトシティの観点で立地条件などを考慮した場合、自然を生かしながらもっと有益な使い道があるはず。

保全という発想は視野が狭すぎるし、環境を守りたいなら市内に他にいくらでも整備するべき場所はある。

そもそも、環境保全の方針が市民に負担を強いてでも納得感がある程度得られているのなら、この問題がこれほど長引くことはなかったし、長引くということが、理解を得られていない証拠である

つくば市の財政を圧迫しないか心配。

市民税高いので。借金も多いと聞く。

県と市で負担することはできないんでしょうか。

無償譲渡が良いのかどうかは現時点では判断ができません。洞峰公園ほどの維持費の高い大きな規模の公園であれば、基本的には県営の方が良いだろうとは思います。市営になった場合、私は洞峰公園から数十メートル程度の近隣住民なので恩恵が受けられているので不満はないですが、一方で、洞峰公園から離れたつくば市民からしたら不満が出るだろうと思います。一方で、市営になることで機動性の高いイベント、例えばフリーマーケットや朝市の開催、イベント、地元レストランの出店など、色々とつくば市としての使い道が広がるのであれば、それはそれで良いことだと思っています。

無償譲渡とは、どこまでを指すのか。

無償譲渡によって、縛りは無いのか。

無償譲渡は良いように感じるが、むしろ多少なりの有償にした方が良い場合はないか。

どちらが良いか、現状では判断できない。

維持管理費や過去の経緯が不明なため。

ノーコメント

よくわからない

少しは管理費の助成はもらえないのでしょうか

一定の理解はできるものの、賛否を示すに必要な情報や根拠が見えません

どこが管理するかは問題ではない

どの様な施設にするのかが希望通りであれば問題ない

公園のあり方、今後 費用など 考えの決断なら 問題無いです。が、建物は古くなるし 長期計画立てご判断下さい。

前述6による収益事業を県と合同で推進する。

住民説明会で、無償譲渡は決定したと聞いた記憶がありますが?

つくば市だけで維持費を賄えるか不安があるから。

当公園運営に対する県のやり方が拙速でひどかったからです。県のやり方と姿勢(住民無視の方針を出し、それが実現しないとなると唐突に市に無理やりな手順で押し付ける)にまったく納得がいっていません。県が姿勢を改めて、近隣住民が納得するかたちでの移譲でないと明らかにおかしいです。

環境も守る為だけの理由なら今のまま県で所有すれば良いと思う。

他の使い方をするなら譲渡してもらえば良いと思う。

管理主体はどちらでも良い

市が管理することが必ずしも現状の課題を解決することには繋がらないから

維持管理にかかる諸費用次第かと思います

しょうがない

関心があまりない

分からない

条件として、今の自然を守る方向であれば。(収益事業は反対)

 今の状況が続くなら特に希望はない

 必要であれば仕方ないと思うから

 よくわからない

 県からの補助を期待

利用料の値上げをしないなら市で管理してもよい

わからない

現在の状況いじできるならどちらでも

判断材料がないため

建物等、補修して使う事の限界を感じるので、本当は県の所有で使ってほしかったと思う。